

岬町

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 結果報告書

令和5年10月

岬町

目次

第1編 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象及び調査方法.....	1
3 留意事項.....	1
第2編 調査結果.....	2
回答者の属性.....	2
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	3
問2 からだを動かすことについて.....	6
問3 食べることについて.....	12
問4 毎日の生活について.....	14
問5 地域での活動について.....	17
問6 たすけあいについて.....	20
問7 健康について.....	25
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	31
問9 在宅生活の継続について.....	32
問10 その他.....	37
自由記述.....	41

第1編 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「岬町地域包括ケア計画 高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定するに当たり、町民の皆さまのご意見を幅広くお聞きし、計画策定の基礎資料として活用するために実施します。

2 調査対象及び調査方法

アンケート調査票は、以下を対象に郵送にて実施しました。

調査時期	令和5年7～8月
対象者	町内にお住まいの65歳以上の方のうち、要介護認定を受けていない方、及び要支援1・2の方
手法	無作為抽出による郵送調査
発送数	1,100票
回収数	649票
回収率	59.0%

3 留意事項

- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- ②設問には1つのみ答える単数回答（SA：シングルアンサー）と、複数回答（MA：マルチアンサー）があります。MAの集計においては、回答者がその選択肢を選択した割合を算出しています。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100%にならないものがあります。

第2編 調査結果

回答者の属性

本アンケートに回答いただいた方の属性は、次の通りです。

年 齢

年齢	人数(人)	割合(%)
65-74 歳	283	43.6
75-84 歳	297	45.8
85 歳以上	69	10.6
合計	649	100.0

性 別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	283	43.6
女性	366	56.4
合計	649	100.0

地 区

地区	人数(人)	割合(%)
淡輪	336	51.8
深日	197	30.4
多奈川	99	15.3
孝子	17	2.6
合計	649	100.0

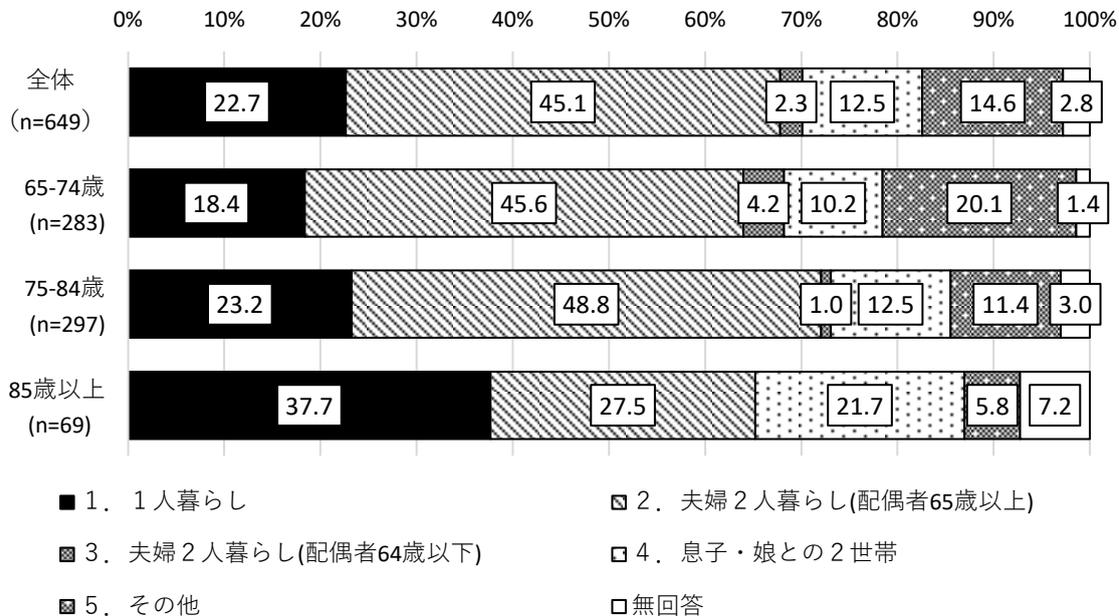
要介護度

要介護度	人数(人)	割合(%)
要介護認定なし	560	86.3
要支援1	64	9.9
要支援2	25	3.9
合計	649	100.0

問1 あなたのご家族や生活状況について

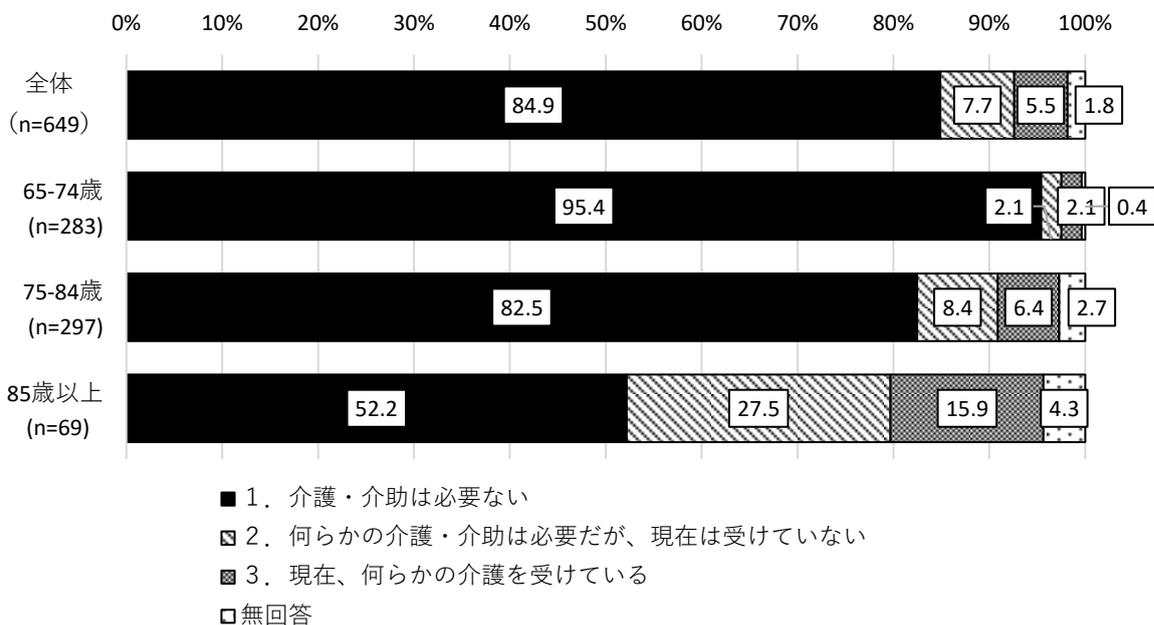
(1) 家族構成 (S A) n=649

家族構成については、全体では「1人暮らし」の割合が 22.7%となっています。年齢別にみると、高齢になるにつれ「1人暮らし」の割合が増加しており、85歳以上においては 37.7%となっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (S A) n=649

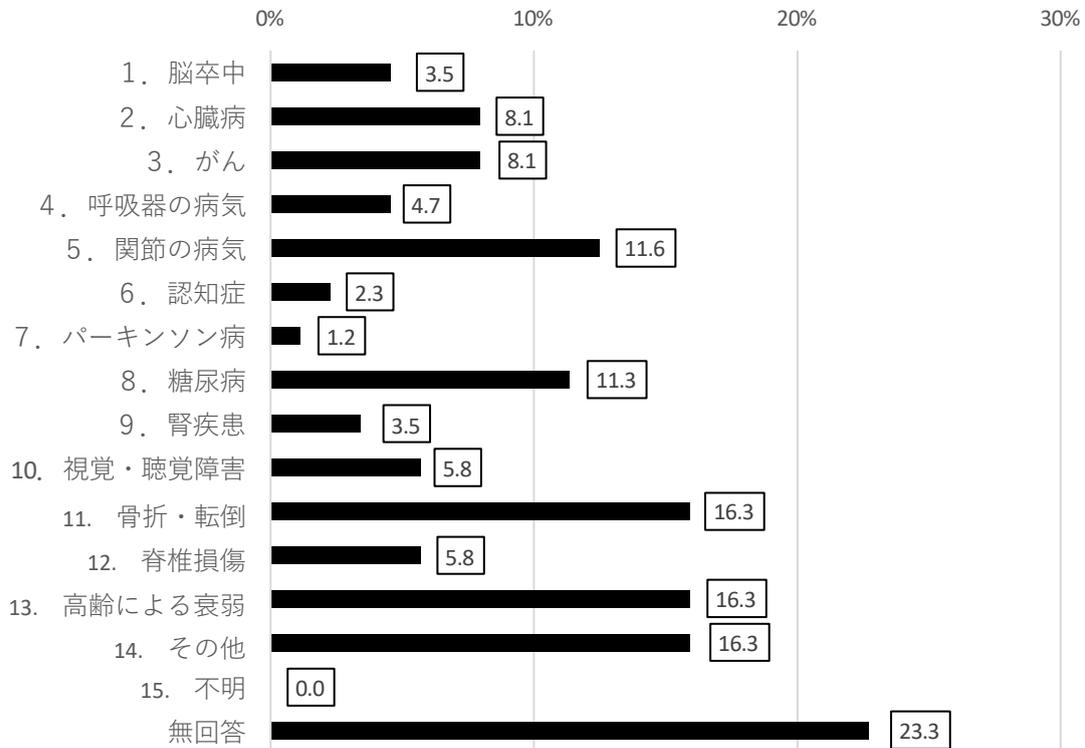
本アンケートは要介護1～5の方は対象ではないこともあり、「介護・介助は必要ない」と回答した方が多くを占めており、全体の 84.9%となっています。年齢別にみると、高齢になるにつれ「介護・介助は必要ない」の割合が減少しており、85歳以上においては 52.2%となっています。



(2) ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (MA) n=86

※(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の回答をした方

最も割合が高いのは「骨折・転倒」「高齢による衰弱」「その他」(いずれも16.3%)、次いで「関節の病気」(11.6%)、「糖尿病」(11.3%)と続きます。

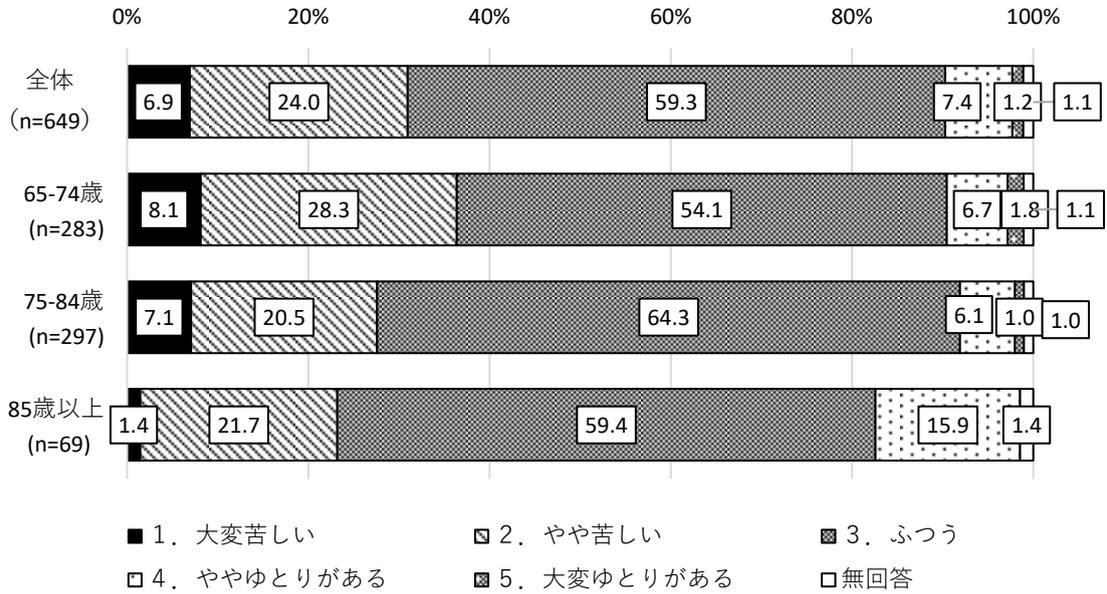


「その他」の記述 (要約)

介護・介助が必要となる主要な原因は、足のしびれ、めまい、日常の手続きの困難、頰椎症、膝や腰の手術や疾患、歩行困難、関節痛や変形などの症状や疾患が挙げられています。

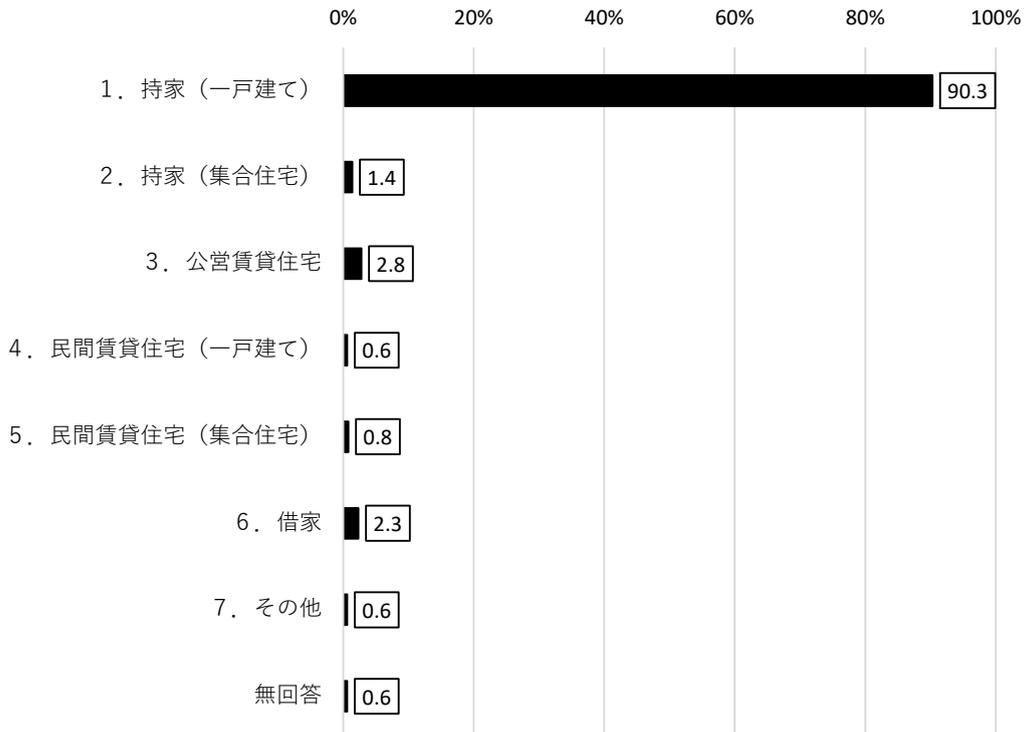
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (SA) n=649

「経済状況が苦しい」(大変苦しい+やや苦しい)は、全体では30.9%となっています。高齢になるにつれ経済状況が苦しいと回答した方の割合は低くなっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (SA) n=649

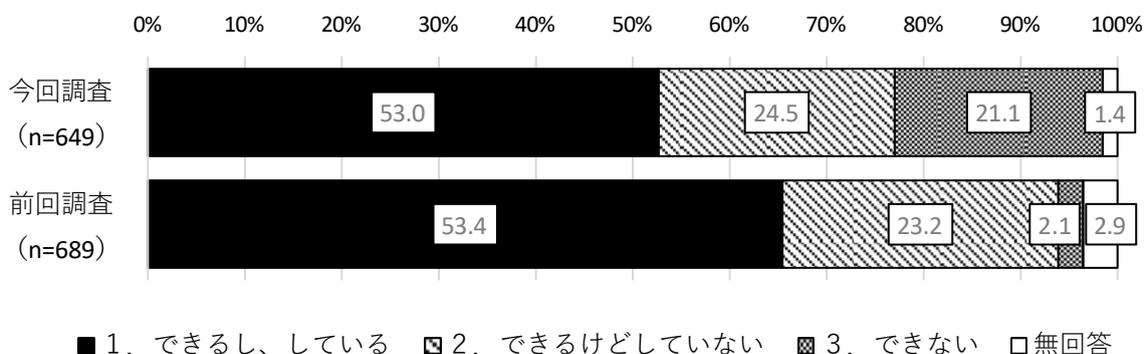
最も割合が高いのは「持家(一戸建て)」(90.3%)、次いで「公営賃貸住宅」(2.8%)、「借家」(2.3%)と続きます。



問2 からだを動かすことについて

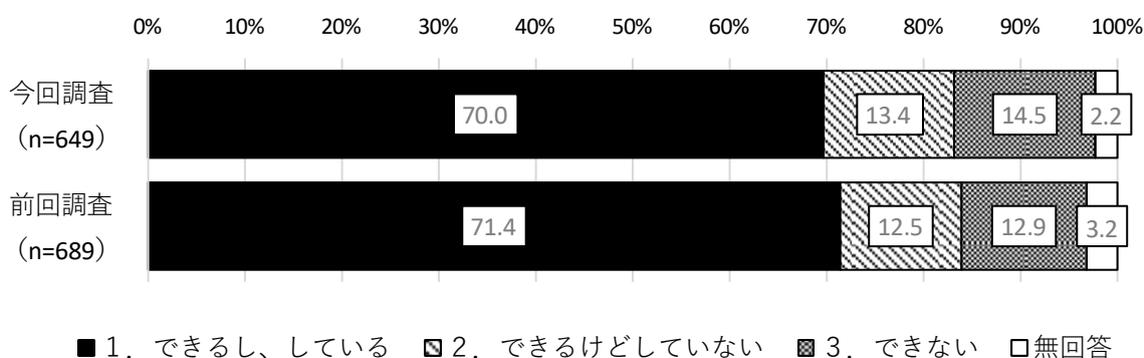
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (S A) n=649

「できるし、している」は53.0%となっており、前回調査(53.4%)と比べてやや減少しています。前回調査と比べて「できない」の割合が増加しています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (S A) n=649

「できるし、している」は70.0%となっており、前回調査(71.4%)と比べてわずかに減少しています。



(3) 15分位続けて歩いていますか (S A) n=649

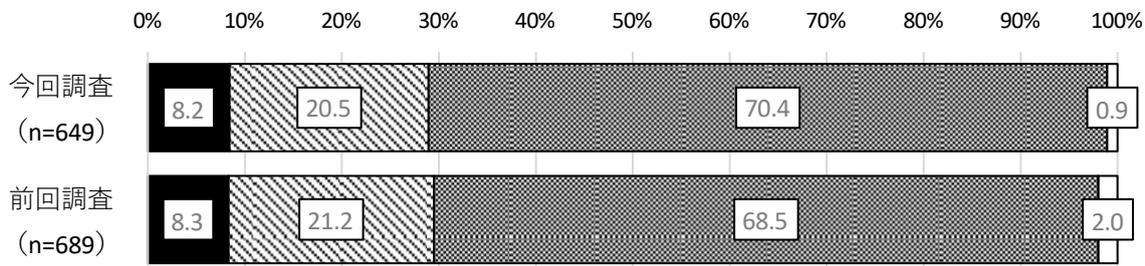
「できるし、している」は70.0%となっており、前回調査(69.2%)と比べてほぼ変わらない結果となっています。



■ 1. できるし、している ▨ 2. できるけどしていない ▩ 3. できない □ 無回答

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (S A) n=649

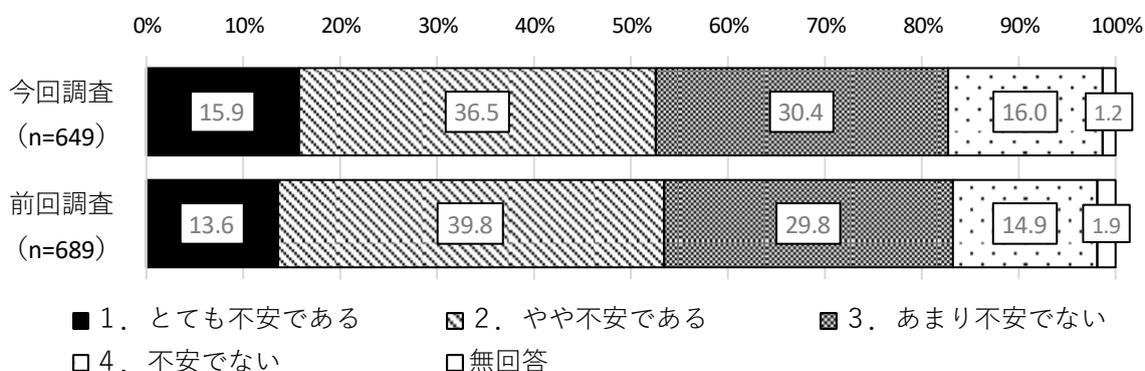
「何度もある」は8.2%となっており、前回調査(8.3%)と比べてほぼ変わらない結果となっています。



■ 1. 何度もある ▨ 2. 1度ある ▩ 3. ない □ 無回答

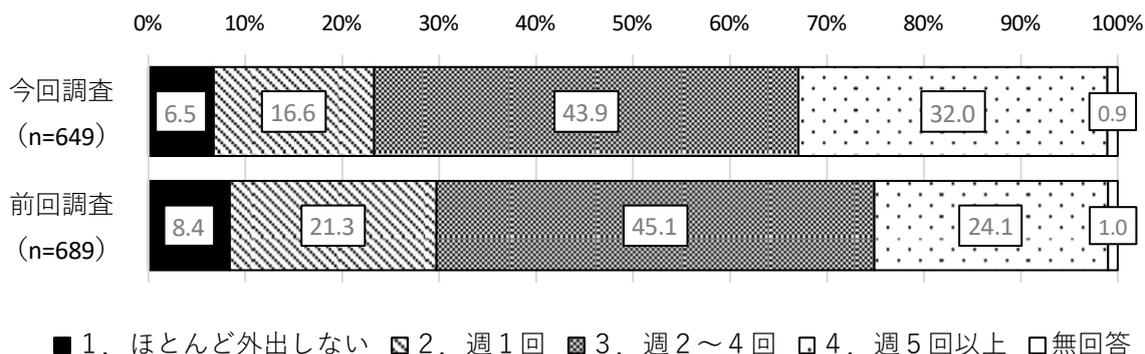
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (S A) n=649

「不安」(とても不安+やや不安)は52.4%となっており、前回調査(53.4%)と比べてわずかに減少しています。



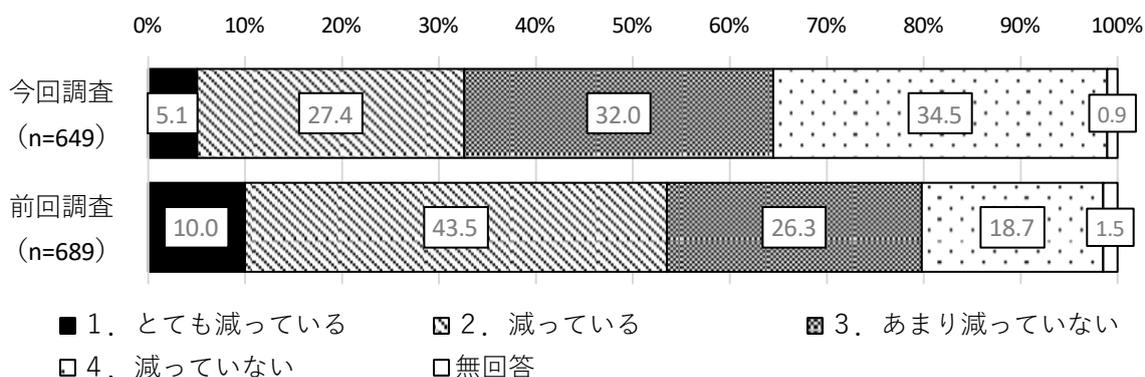
(6) 週に1回以上は外出していますか (S A) n=649

「週2~4回」(43.9%)が最も高く、次いで「週5回以上」(32.0%)、「週1回」(16.6%)と続きます。前回調査と比較すると、全体的に外出頻度は増加しています。前回調査が新型コロナウイルス感染症による行動制限の大きかった時期に実施されていることから、感染への不安から外出を控える傾向がなくなってきたと考えられます。



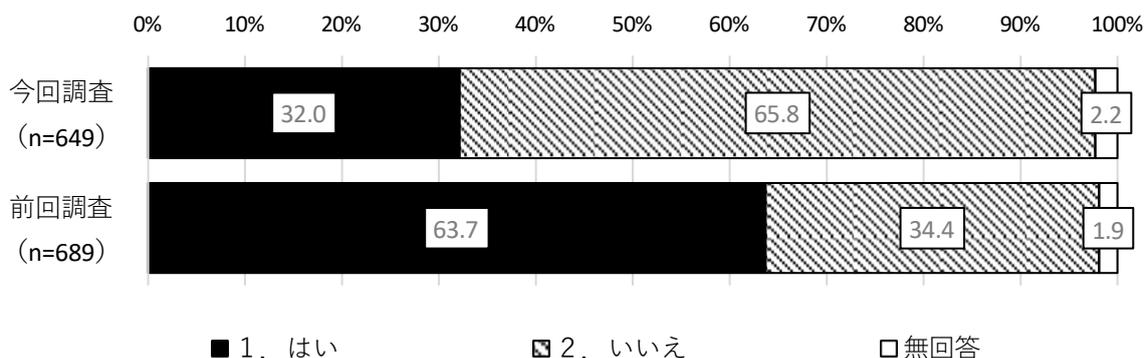
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (S A) n=649

「減っている」(とても減っている+減っている)は32.5%となっており、前回調査(53.5%)と比べて大きく減少しています。感染への不安から外出を控える傾向がなくなってきていると考えられます。



(8) 外出を控えていますか (S A) n=649

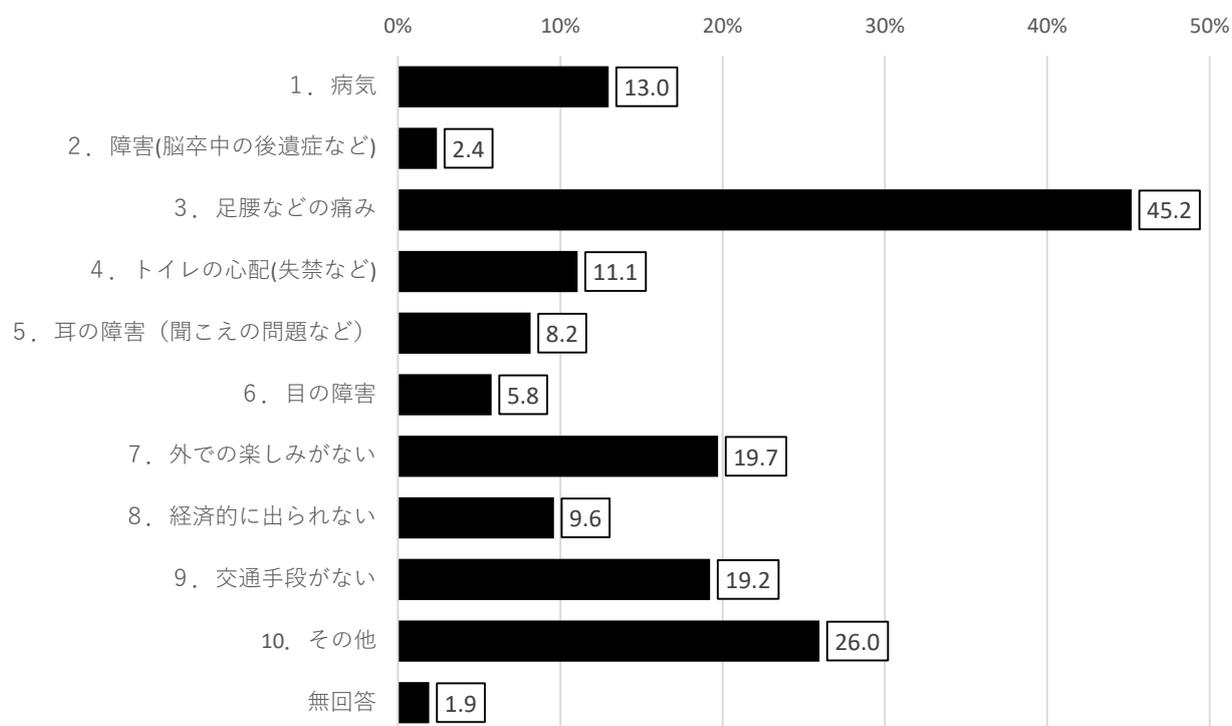
「はい」は32.0%となっており、前回調査(63.7%)と比べて大きく減少しています。感染への不安から外出を控える傾向がなくなってきていると考えられます。



(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか (MA) n=208

※ (8) で「1. はい」(外出を控えている)と回答した方

「足腰などの痛み」(45.2%)が最も高く、次いで「その他」(26.0%)、「外での楽しみがない」(19.7%)と続きます。

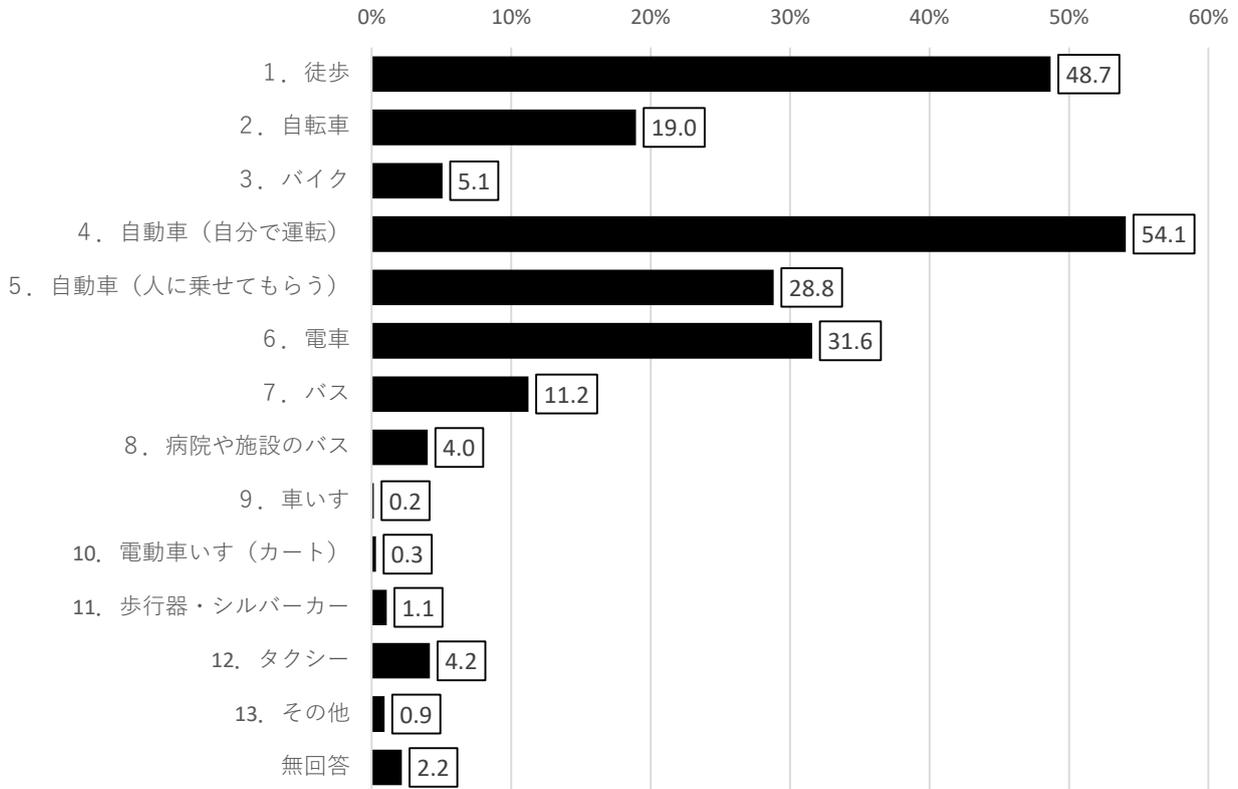


「その他」の記述 (要約)

外出を控えている理由として、新型コロナウイルス感染症の影響との回答が多く、その他、暑さ(熱中症の懸念など)、体調や症状(しびれ、疲れ、術後、膝痛など)、安全や安心のため(一人での不安、坂や段差の難しさ)、特定の用件や必要がないためなどの意見が挙げられています。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (MA) n=649

「自動車（自分で運転）」(54.1%) が最も高く、次いで「徒歩」(48.7%)、「電車」(31.6%)と続きます。



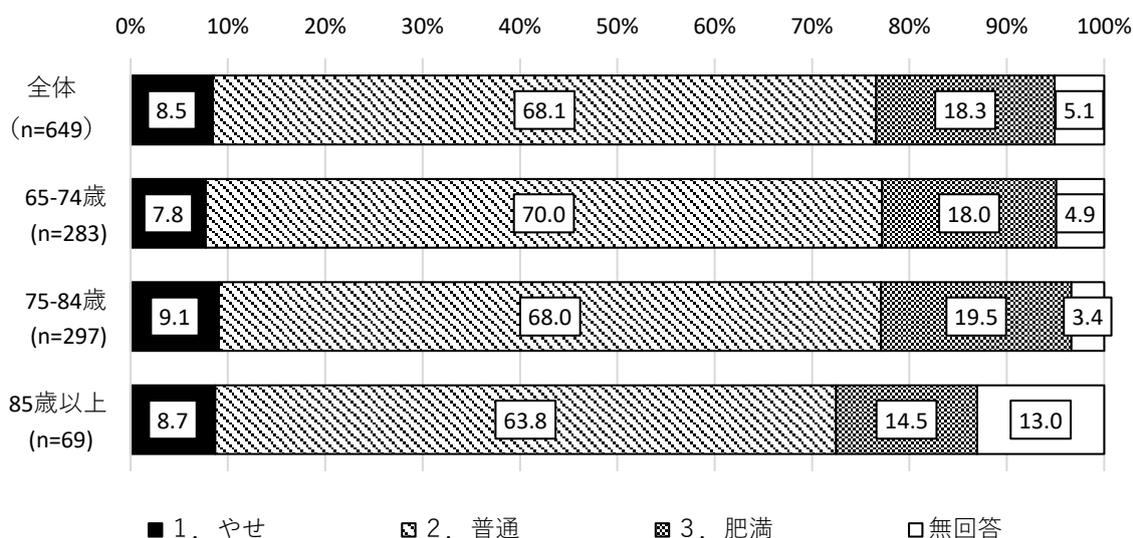
「その他」の記述（要約）

外出時の移動手段として、病院の車、三輪車、子どもの車、コミュニティバスなどが挙げられており、免許を返納する予定との回答もありました。

問3 食べることについて

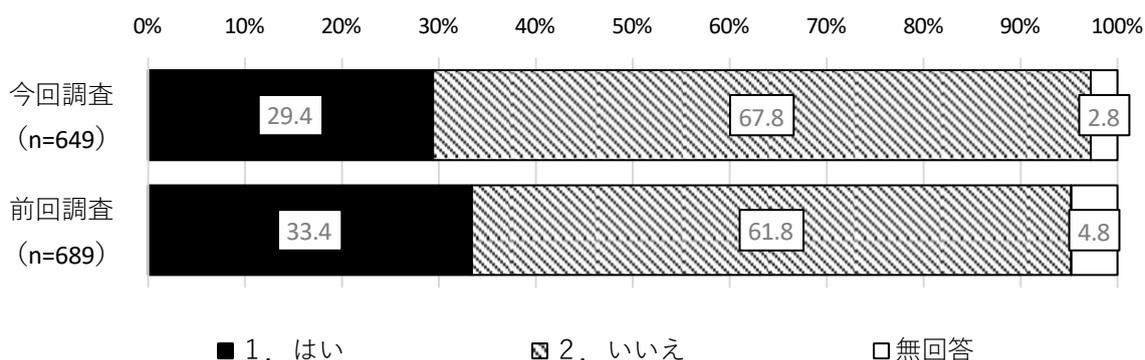
(1) 低栄養リスク (SA) n=649

身長・体重から算出される BMI (体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が 18.5 未満の場合、低栄養が疑われます。低栄養が疑われる高齢者は、全体では 8.5%となっています。年齢別にみると、65-74 歳では「やせ (18.5 未満)」が 7.8%、75-84 歳では 9.1%、85 歳以上では 8.7%となっています。



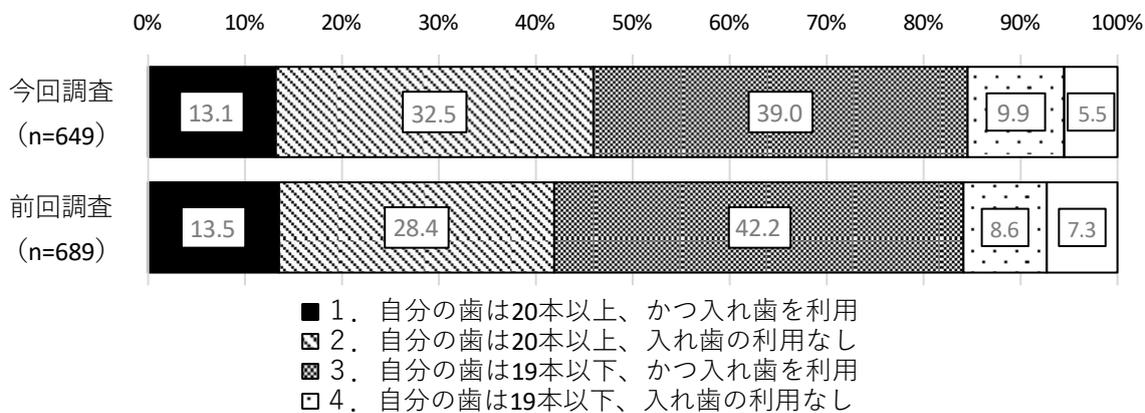
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (SA) n=649

「はい」は 29.4%となっており、前回調査 (33.4%) と比べてやや減少しています。



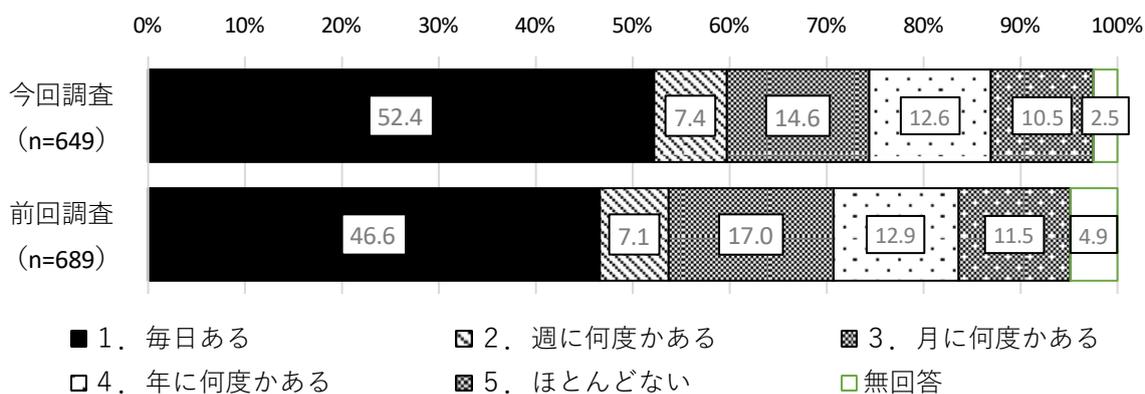
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (S A) n=649

「歯の数が20本以上」の合計は45.6%となっており、前回調査(41.9%)と比べてやや増加しています。



(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (S A) n=649

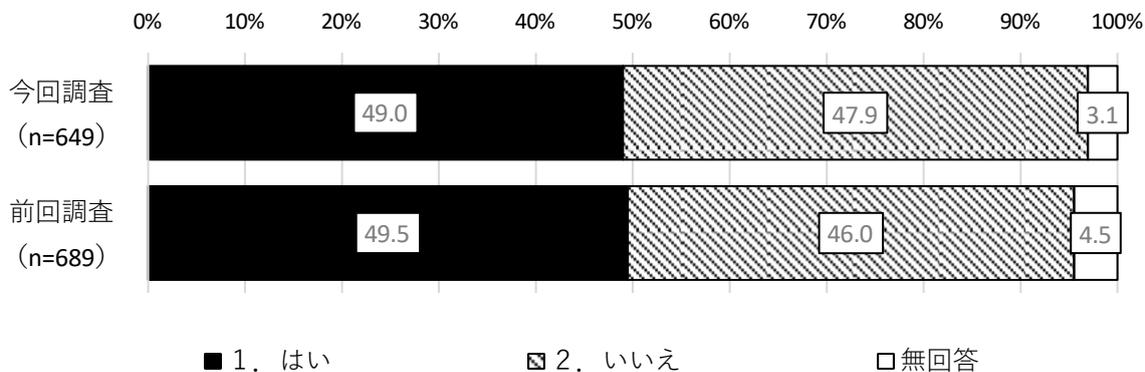
「頻繁にある」(毎日ある+週に何度かある)は59.8%となっており、前回調査(53.7%)と比べてやや増加しています。



問4 毎日の生活について

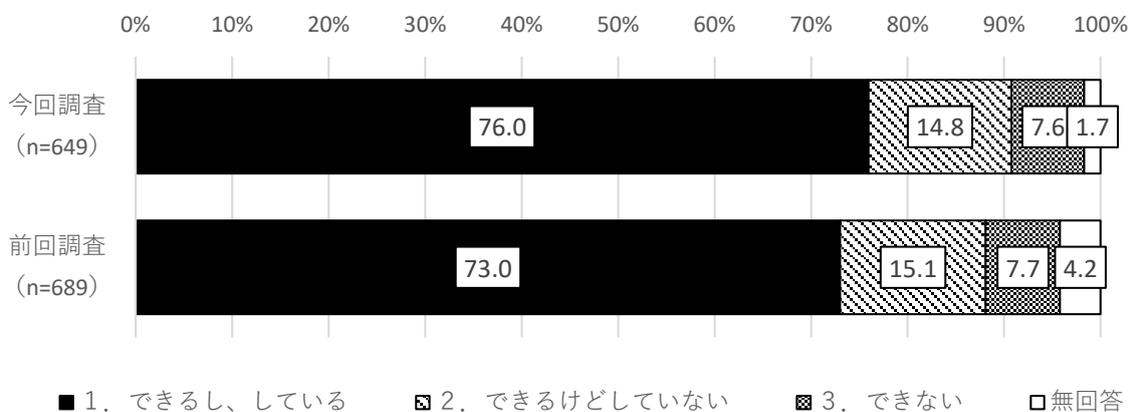
(1) 物忘れが多いと感じますか (S A) n=649

「はい」は49.0%となっており、前回調査(49.5%)と比べてほぼ変わらない結果となっています。



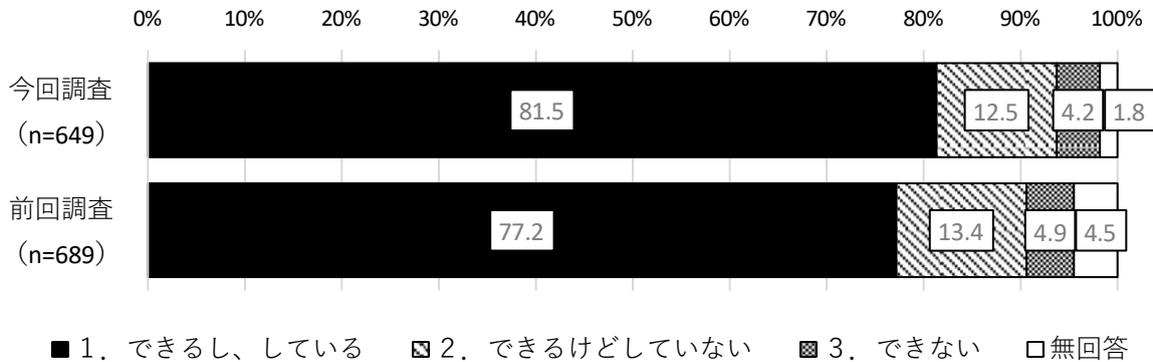
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (S A) n=649

「できるし、している」は76.0%となっており、前回調査(73.0%)と比べてわずかに増加しています。



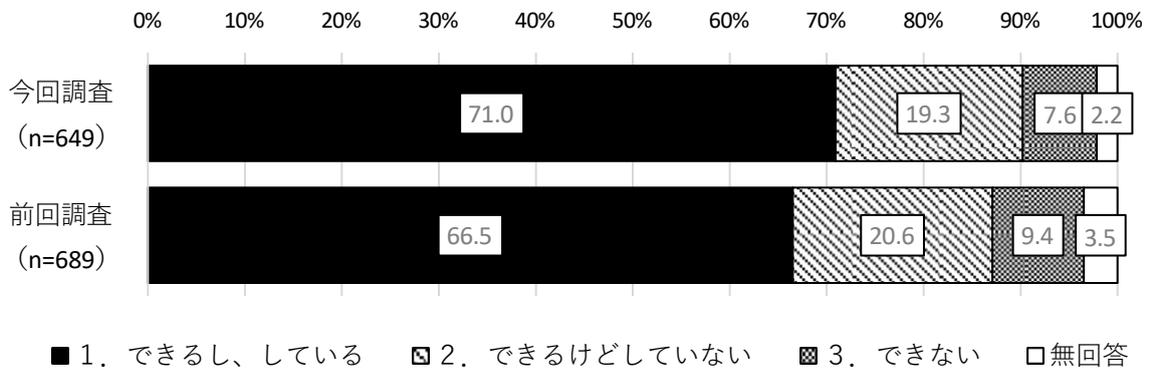
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (S A) n=649

「できるし、している」は 81.5%となっており、前回調査 (77.2%) と比べてやや増加しています。



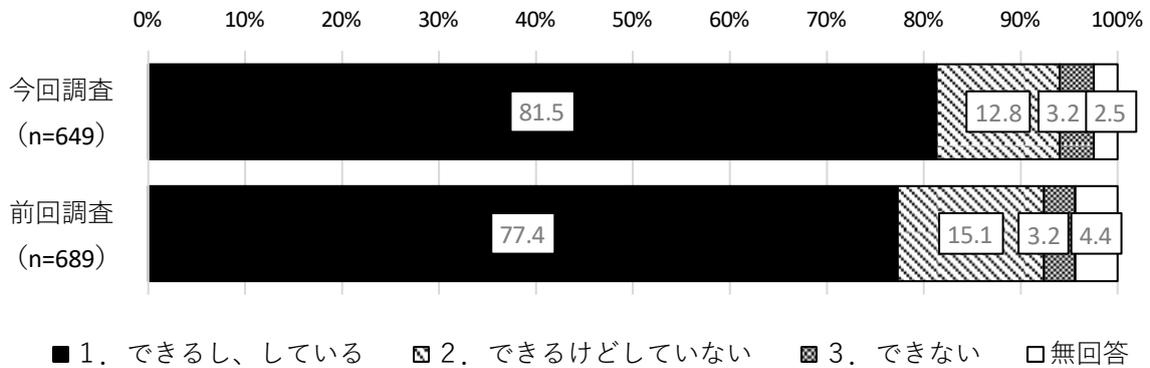
(4) 自分で食事の用意をしていますか (S A) n=649

「できるし、している」は 71.0%となっており、前回調査 (66.5%) と比べてやや増加しています。



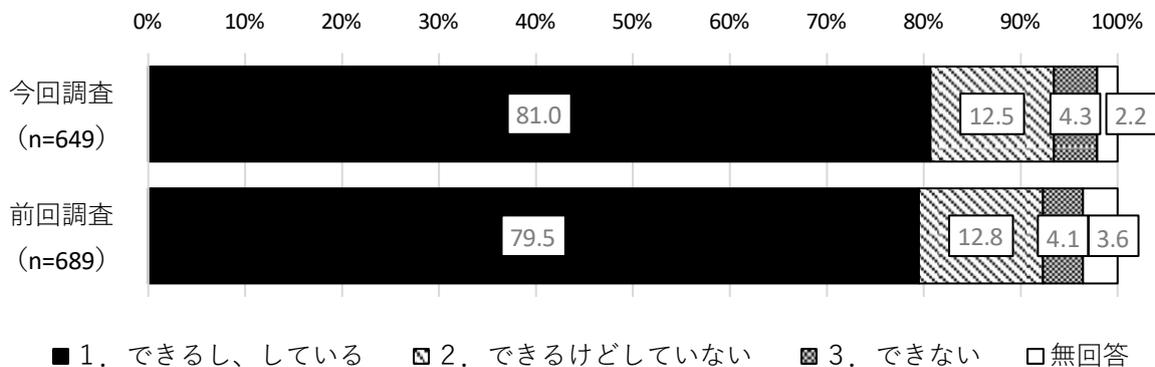
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (S A) n=649

「できるし、している」は81.5%となっており、前回調査(77.4%)と比べてやや増加しています。



(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (S A) n=649

「できるし、している」は81.0%となっており、前回調査(79.5%)と比べてわずかに増加しています。



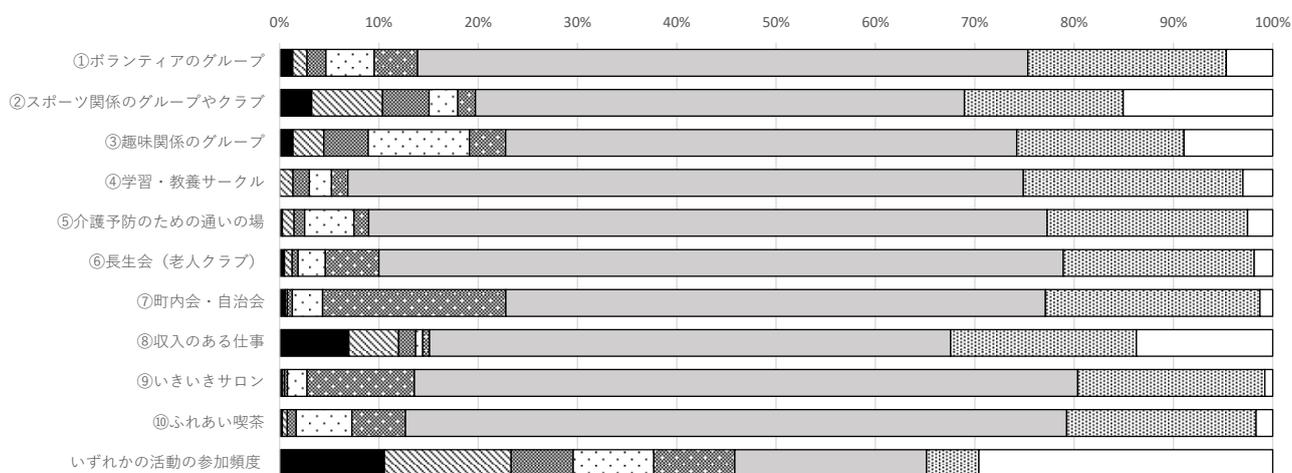
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (SA)

n=649

週1回以上参加している方の割合が最も高いのは「収入のある仕事」で、合計15.9% (週4回以上8.1%、週2~3回5.8%、週1回2.0%) となっています。いずれかの活動に週1回以上参加している方の割合は、42.0%となっています。

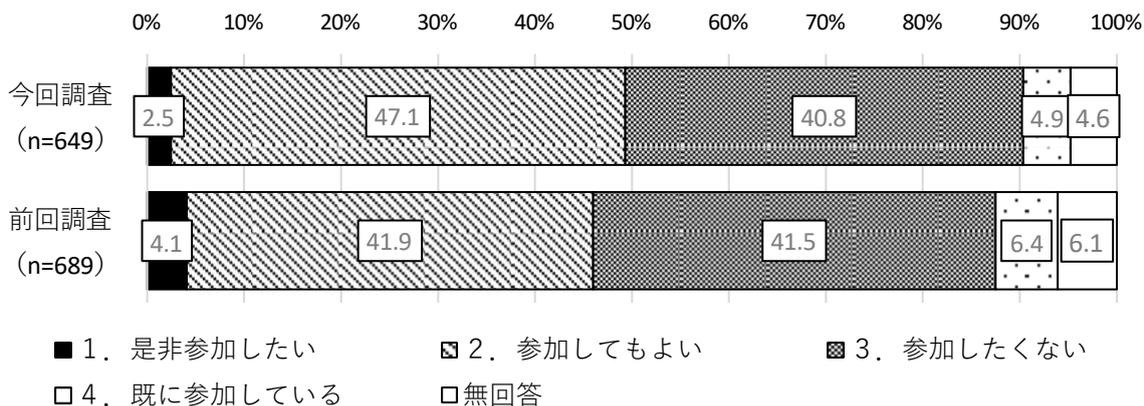
	①ボランティアのグループ	②スポーツ関係のグループやクラブ	③趣味関係のグループ	④学習・教養サークル	⑤介護予防のための通いの場	⑥長生会(老人クラブ)	⑦町内会・自治会	⑧収入のある仕事	⑨いきいきサロン	⑩ふれあい喫茶	いずれかの活動の参加頻度
1. 週4回以上	1.4	3.8	1.5	0.0	0.3	0.5	0.6	8.1	0.3	0.3	15.1
2. 週2~3回	1.5	8.5	3.4	1.4	1.2	0.8	0.2	5.8	0.2	0.5	18.2
3. 週1回	2.0	5.5	4.9	1.7	1.1	0.6	0.5	2.0	0.3	0.9	9.0
4. 月1~3回	5.1	3.4	11.1	2.3	5.1	2.8	3.1	0.8	2.0	5.7	11.6
5. 年に数回	4.6	2.1	4.0	1.7	1.5	5.5	18.8	0.8	11.0	5.5	11.7
6. 参加していない	64.2	57.7	56.4	69.9	69.9	70.0	54.7	60.6	67.1	67.5	26.9
無回答	21.1	18.9	18.6	22.9	20.8	19.7	22.0	21.8	19.1	19.5	7.5
週1回以上参加	4.9	17.7	9.8	3.1	2.6	1.9	1.3	15.9	0.8	1.7	42.0



■ 1. 週4回以上 ▨ 2. 週2~3回 ▩ 3. 週1回 □ 4. 月1~3回 ▤ 5. 年に数回 ▦ 6. 参加していない ▧ 無回答 □ 週1回以上参加

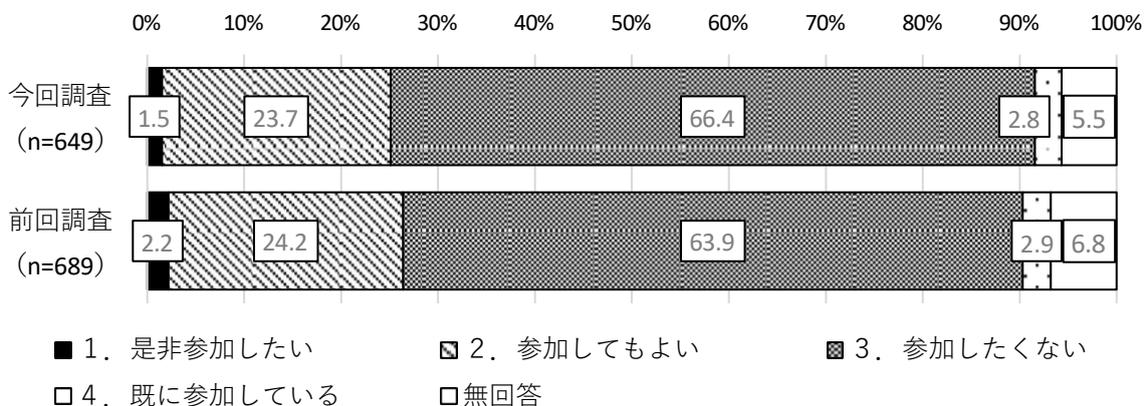
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (S A) n=649

「参加意向あり」(是非参加したい+参加してもよい)は 49.6%となっており、前回調査(46.0%)と比べてやや増加しています。



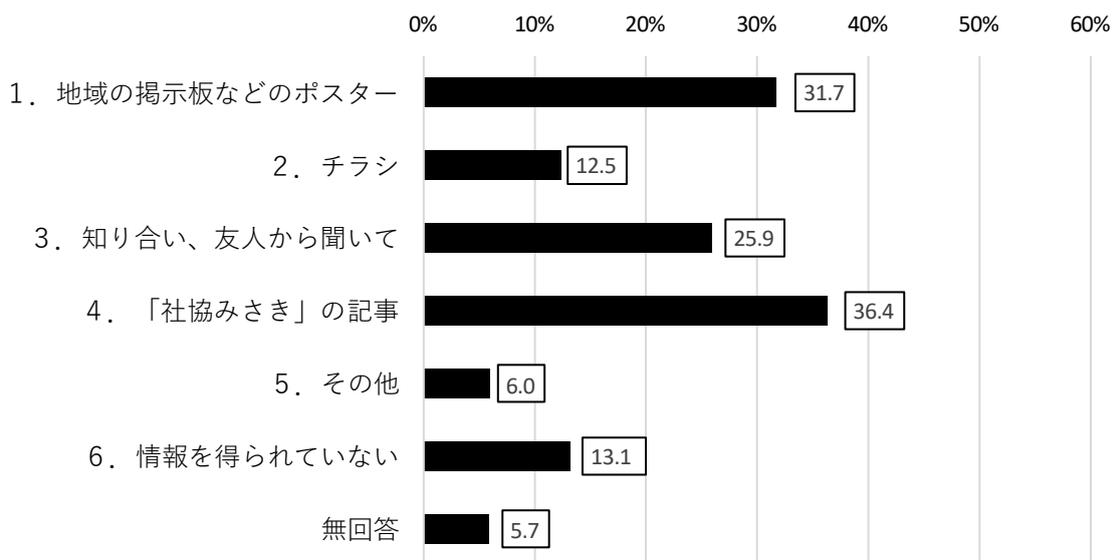
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (S A) n=649

「参加意向あり」(是非参加したい+参加してもよい)は 25.3%となっており、前回調査(26.4%)よりもわずかに減少しています。



(4) あなたは、ふれあい喫茶などの地域の交流の場についての情報をどのように得ていますか (MA) n=649

最も割合が高いのは「社協みさきの記事」(36.4%)、次いで「地域の掲示板などのポスター」(31.7%)、「知り合い、友人から聞いて」(25.9%)と続きます。



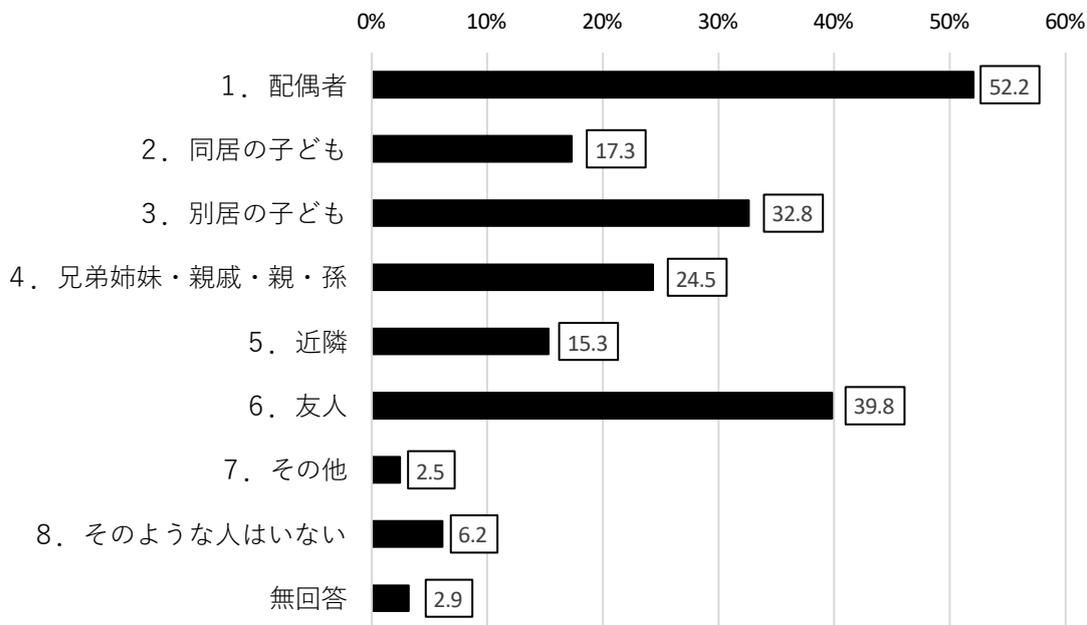
「その他」の記述 (要約)

地域の交流の場の情報についてどのように得ているかについて、「回覧板」が最も多く、次いで「岬町LINE」や家族から情報を得ているとの回答があり、ボランティアや民生委員の活動を通じて情報を取得しているとの回答も見受けられました。また、いくつかの回答からは、特定の活動や団体との関係性により情報を入手していることが伺えます。

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (MA) n=649

最も割合が高いのは「配偶者」(52.2%)で、次いで「友人」(39.8%)、「別居の子ども」(32.8%)と続きます。

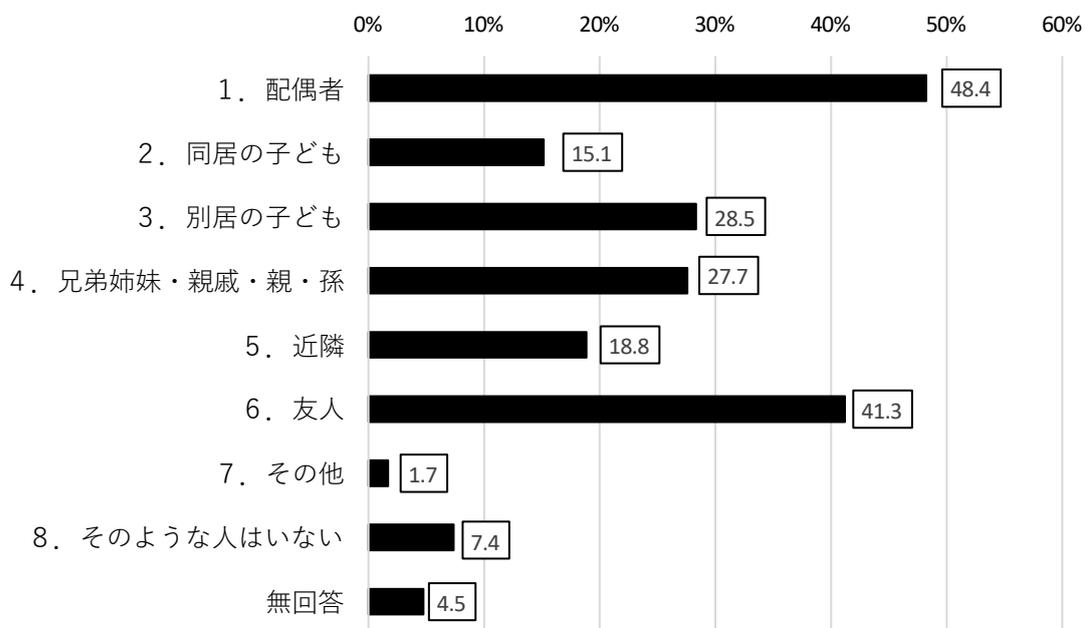


「その他」の記述 (要約)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、家族や仕事関連の人々(同僚、仕事仲間、目上の人)が挙がっています。その他、信仰、クラブの仲間、知人といった回答がありました。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA) n=649

最も割合が高いのは「配偶者」(48.4%)で、次いで「友人」(41.3%)、「別居の子ども」(28.5%)と続きます。



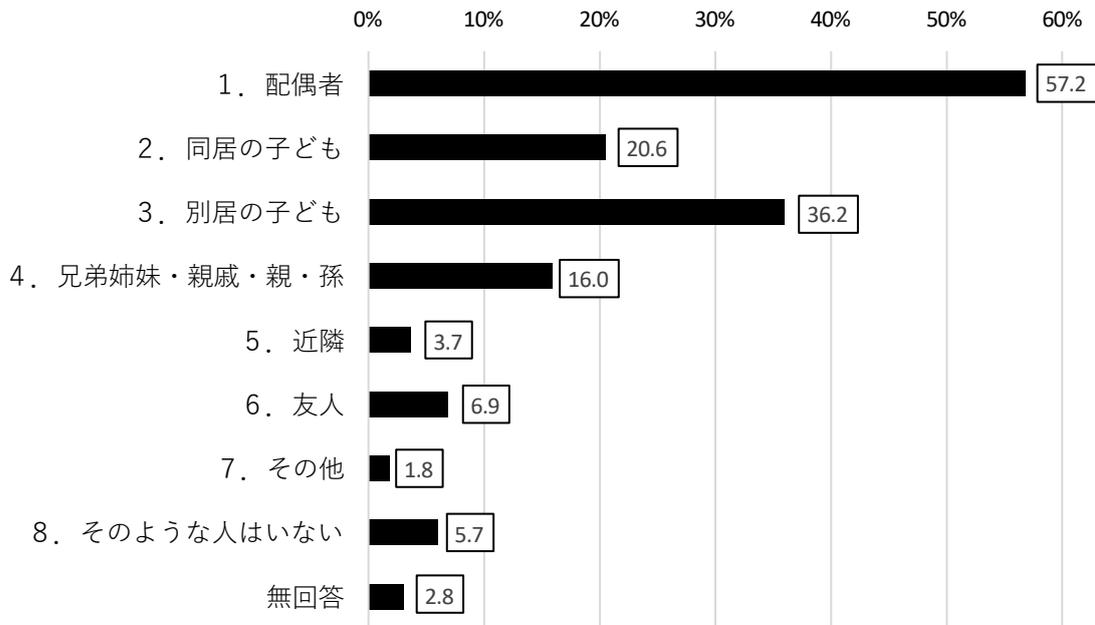
「その他」の記述 (要約)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、家族、ボランティアやクラブの仲間、仕事の同僚といった回答がありました。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)

n=649

最も割合が高いのは「配偶者」(57.2%)、次いで「別居の子ども」(36.2%)、「同居の子ども」(20.6%)と続きます。

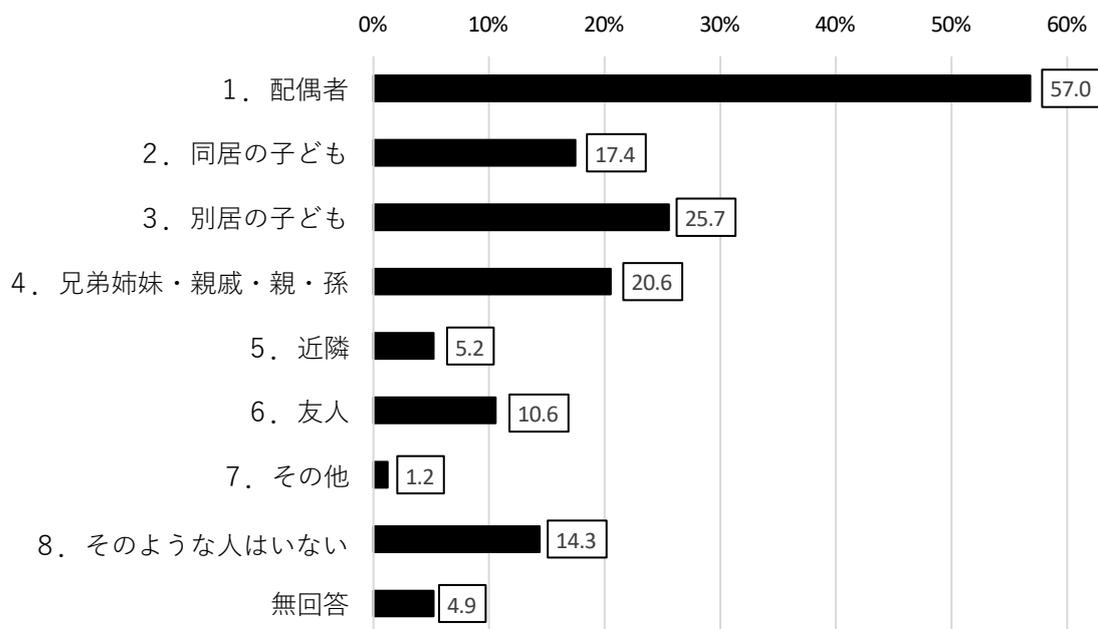


「その他」の記述 (要約)

看病や世話をしてくれる人について、家族、ヘルパーなどの回答がありました。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (MA) n=649

最も割合が高いのは「配偶者」(57.0%)、次いで「別居の子ども」(25.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.6%)と続きます。

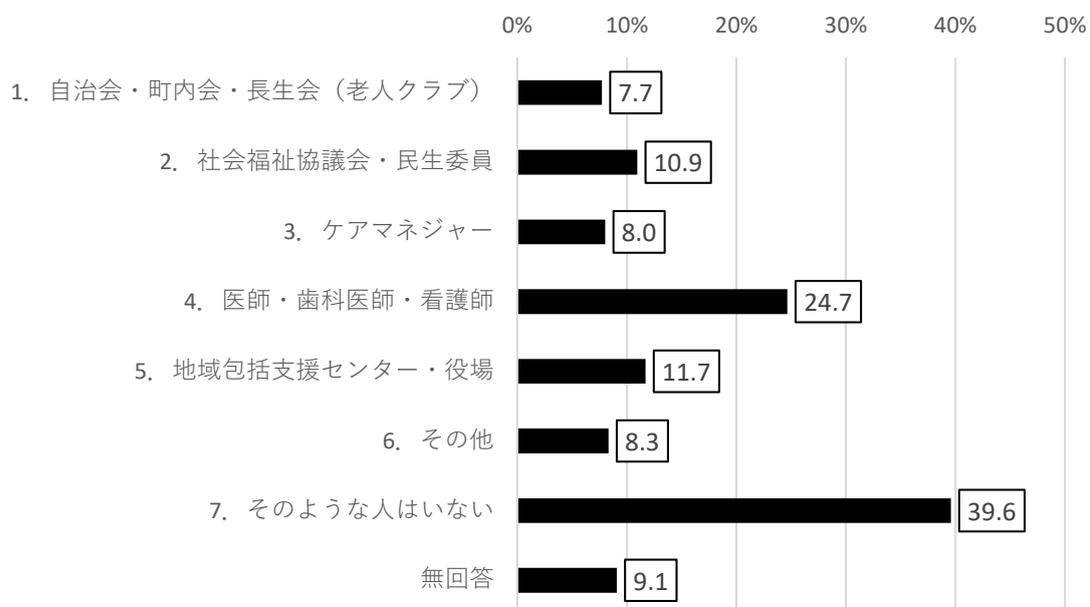


「その他」の記述 (要約)

看病や世話をしてあげる人について、義母、義妹、「看病や世話はできない」との回答がありました。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(MA) n=649

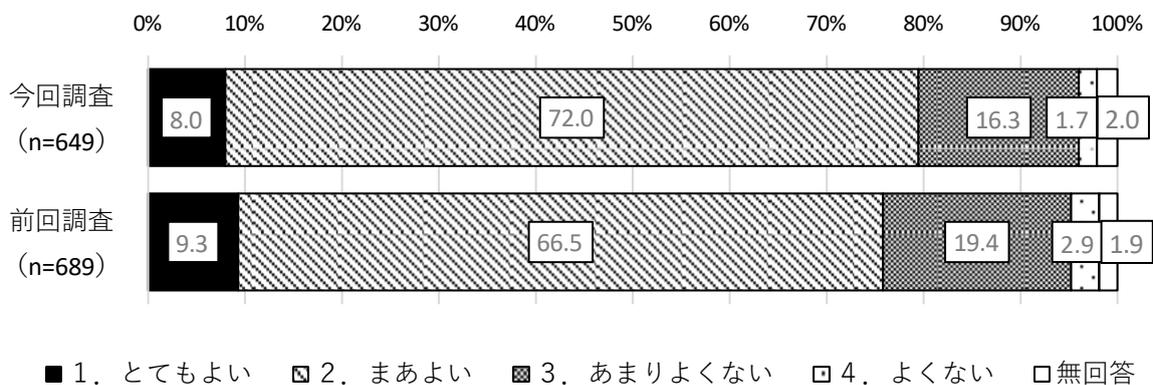
最も割合が高いのは「そのような人はいない」(39.6%)、次いで「医師・歯科医師・看護師」
(24.7%)、「地域包括支援センター・役場」(11.7%)と続きます



問7 健康について

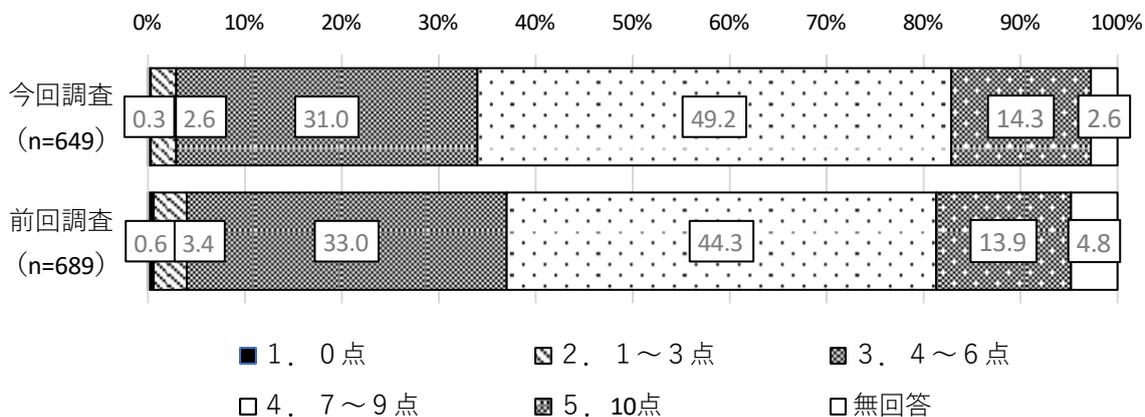
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (S A) n=649

「健康状態がよい」(とてもよい+まあよい)は80.0%となっており、前回調査(75.8%)と比べてわずかに増加しています。



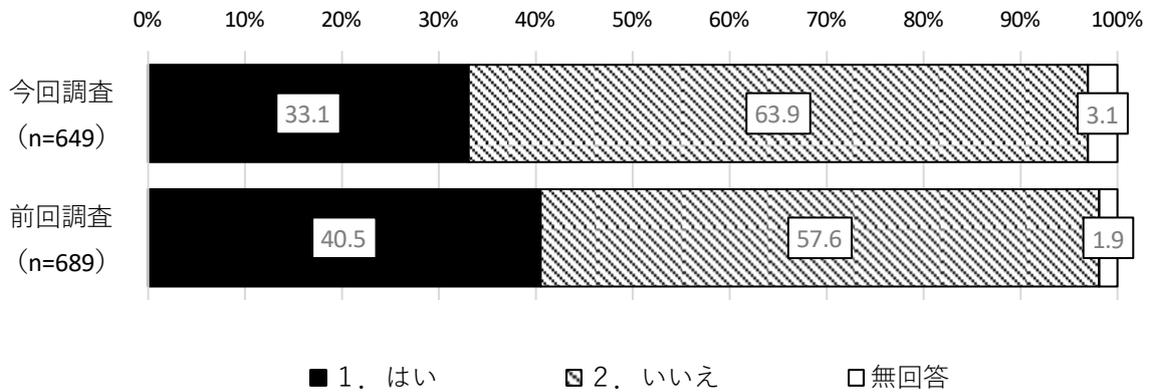
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (S A) n=649

「7~9点」(49.2%)が最も高く、前回調査(44.3%)と比べてわずかに増加しています。



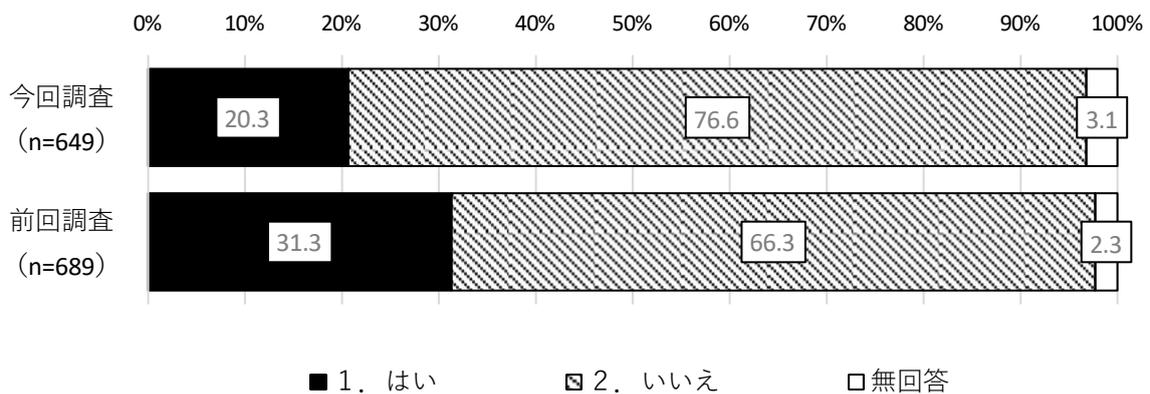
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (SA) n=649

「はい」は33.1%となっており、前回調査(40.5%)と比べて減少しています。



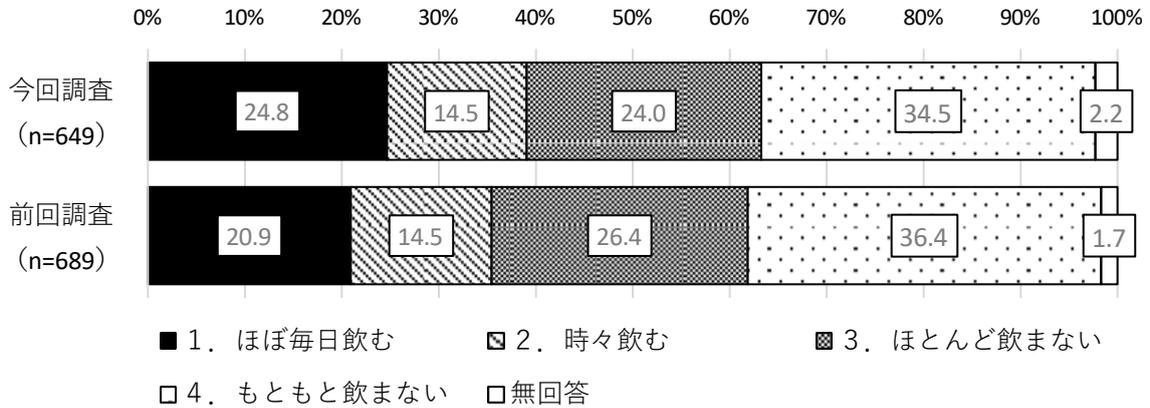
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (SA) n=649

「はい」は20.3%となっており、前回調査(31.3%)と比べて減少しています。



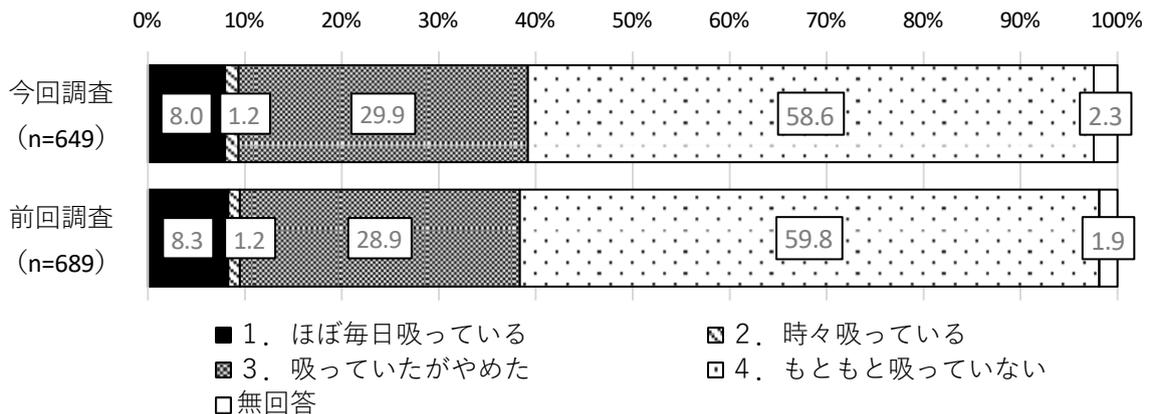
(5) お酒は飲みますか (S A) n=649

「常習的に飲酒している」(ほぼ毎日飲む+時々飲む)は 39.3%となっており、前回調査(35.4%)と比べてやや増加しています。



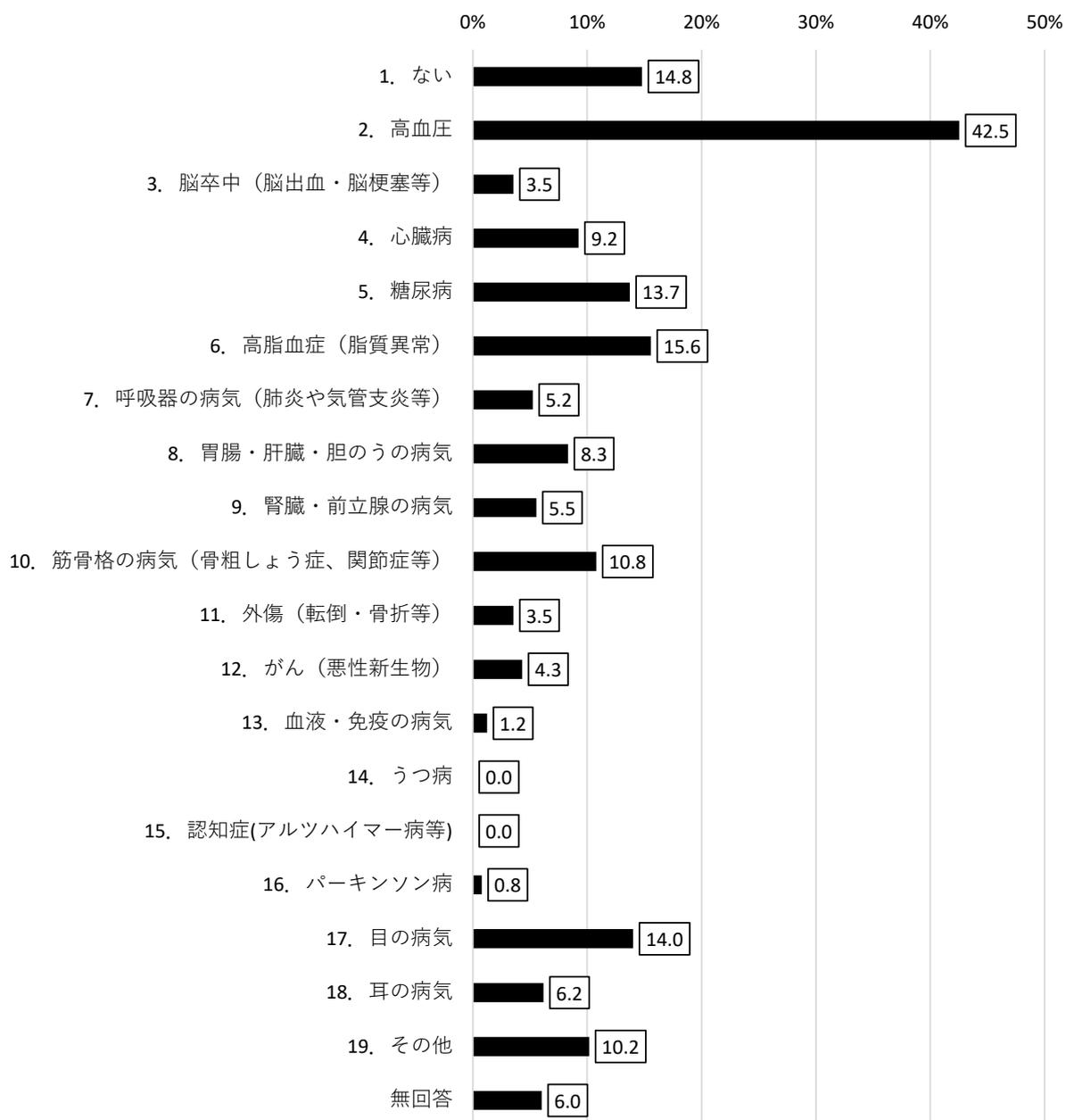
(6) タバコは吸っていますか (S A) n=649

「常習的に喫煙している」(ほぼ毎日吸っている+時々吸っている)は 9.2%となっており、前回調査(9.5%)とほぼ同様です。各回答の割合に大きな傾向の変化はみられません。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA) n=649

最も割合が高いのは「高血圧」(42.5%)、次いで「高脂血症」(15.6%)、「目の病気」(14.0%)と続きます。

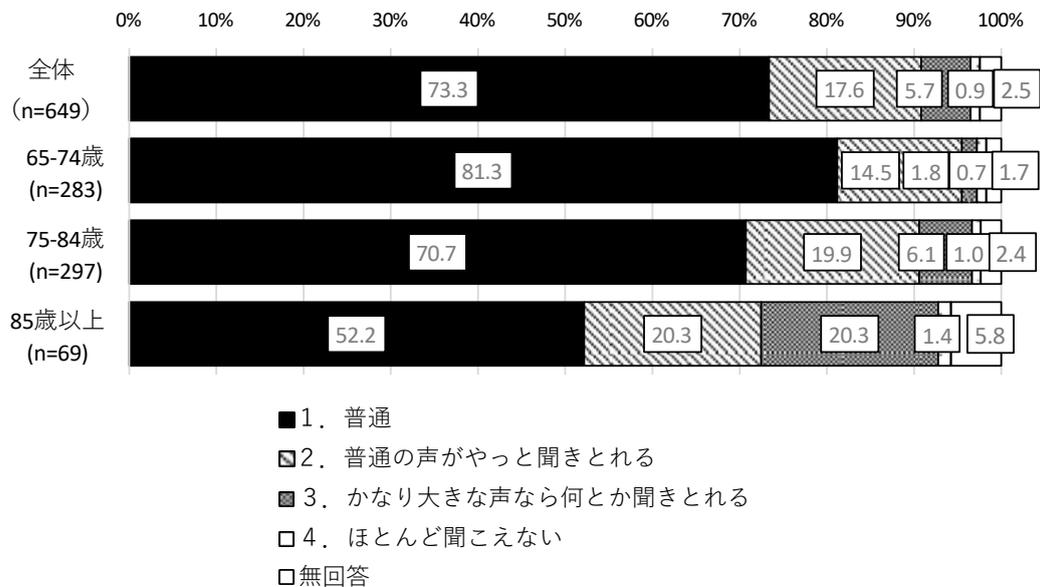


「その他」の記述 (要約)

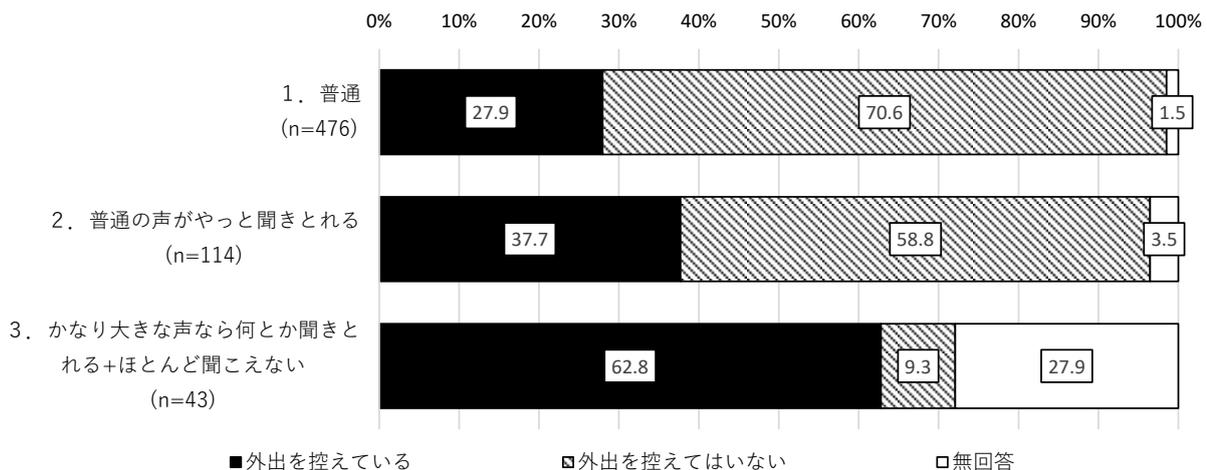
現在治療中、または後遺症のある病気について、脊柱管狭窄症、リウマチ、痛風、腰痛などの骨格・関節系の病気、高コレステロール、動脈硬化、狭心症などの循環器系の病気、膀胱がんや大腸がんなどのがん、ピロリ菌感染や逆流性食道炎などの消化器系の病気、アレルギー性鼻炎、ぜんそくなどの呼吸器系の病気、アトピー性皮膚炎やその他の皮膚病、耳鳴り、めまい、手や足の骨折といった様々な病気が挙がっています。

(8) 現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか (S A) n=649

最も割合が高いのは「普通に聞き取れる」(73.3%)、次いで「普通の声がやっと聞きとれる」(17.6%)、「かなり大きな声なら何とか聞きとれる」(5.7%)、「ほとんど聞こえない」(0.9%)と続きます。普通に聞き取れると回答した割合を年齢層別に見ると、65-74歳では81.3%、75-84歳では70.7%、85歳以上では52.2%となっています。



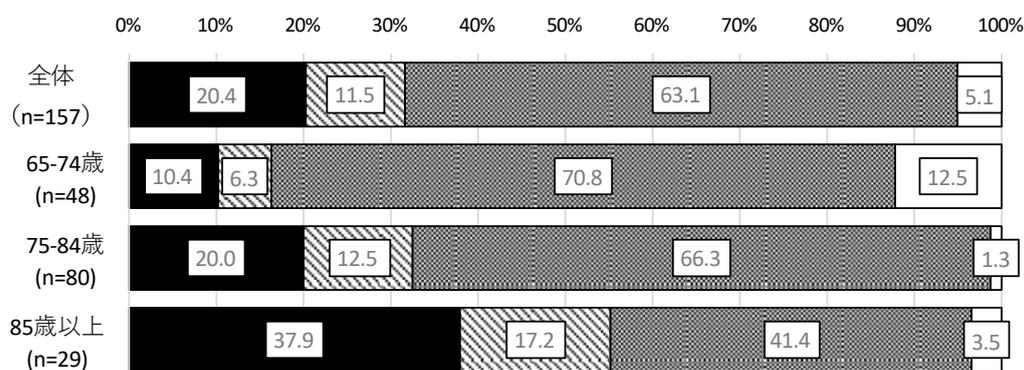
また、聴力が外出行動に及ぼす影響をみたところ、耳の聞こえがよくない方ほど外出を控える傾向がみられます。



① 現在、補聴器を使用していますか（SA） n=157

※（8）で「1. 普通」以外の回答をした方

「持っていない」は63.1%となっています。年齢が上がるにつれて補聴器の使用率と持っていない率が増加しています。

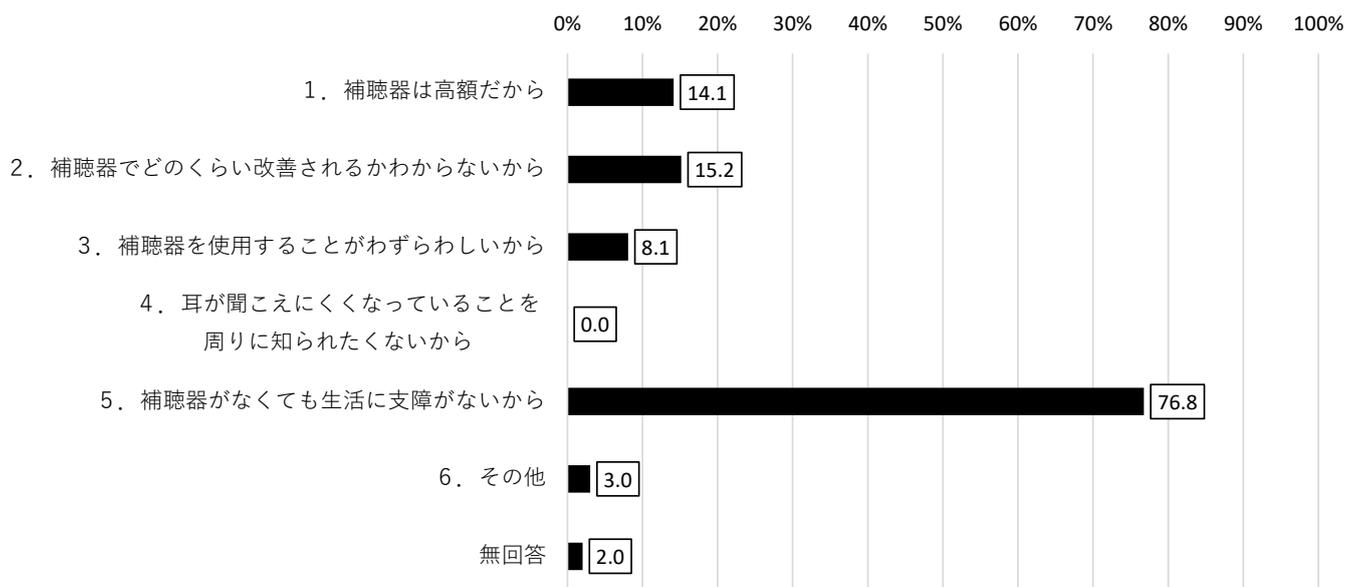


■ 1. 使用している ▨ 2. 持っているが使用していない ▩ 3. 持っていない □ 無回答

② 補聴器を持っていない理由は何ですか（MA） n=99

※①で「3. 持っていない」と回答した方

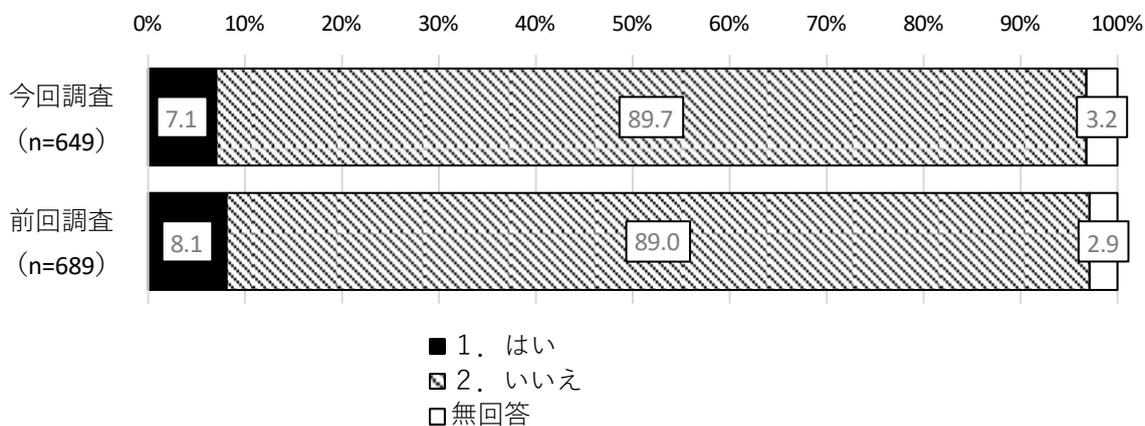
最も割合が高いのは「補聴器がなくても生活に支障がないから」（76.8%）、次いで「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」（15.2%）、「補聴器は高額だから」（14.1%）と続きます。



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

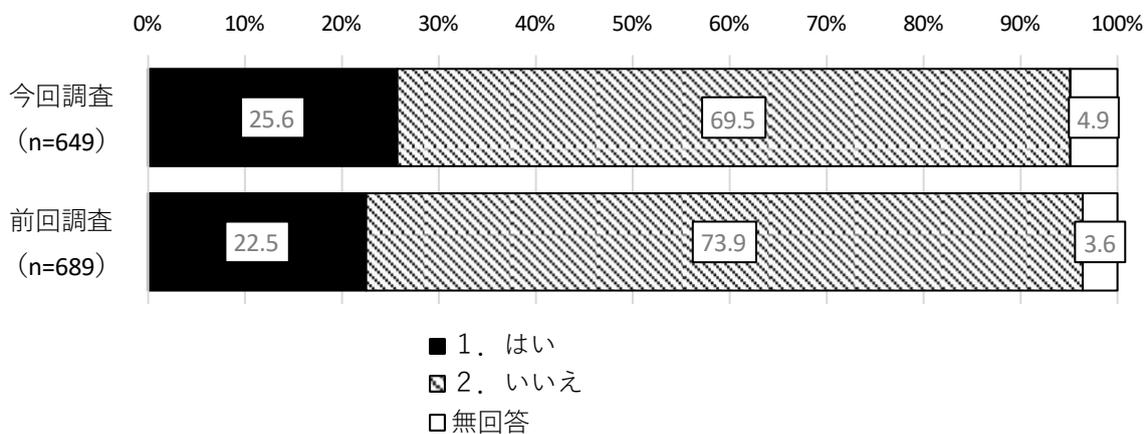
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (S A) n=649

「はい」は7.1%となっており、前回調査(8.1%)と比べてわずかに減少しています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (S A) n=649

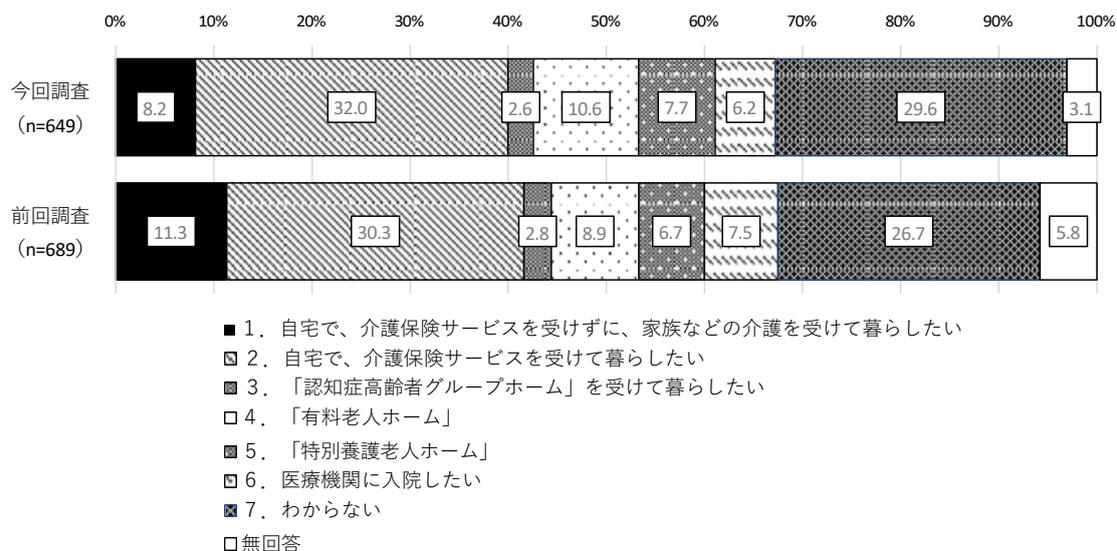
「はい」は25.6%となっており、前回調査(22.5%)と比べてやや増加しています。



問9 在宅生活の継続について

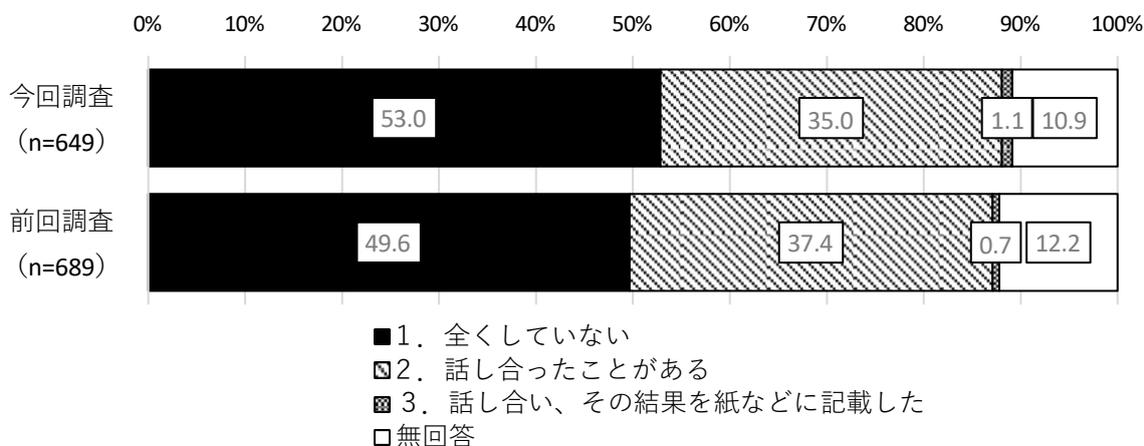
(1) あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合や、人生の最期を迎える時にどのような暮らしをおくりたいですか (SA) n=649

最も割合が高いのは「自宅で、介護保険サービスを受けて暮らしたい」(32.0%)となっており、前回調査(30.3%)と比べてやや増加しています。



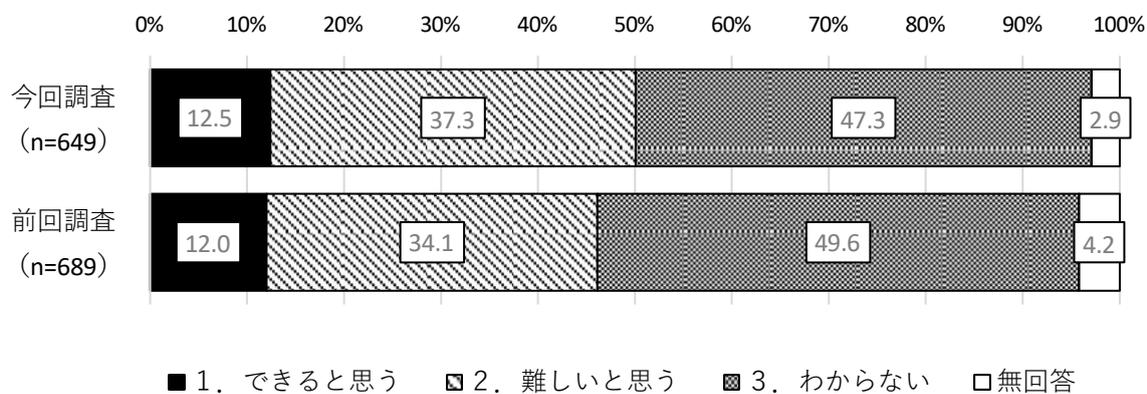
(2) 1で回答したこと(人生の最期を迎える時におくりたい暮らし)について誰かと話し合いをしていますか。(SA) n=649

「全くしていない」は53.0%となっており、前回調査(49.6%)と比べてやや増加しています。



(3) あなたは、自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができますか。
(S A) n=649

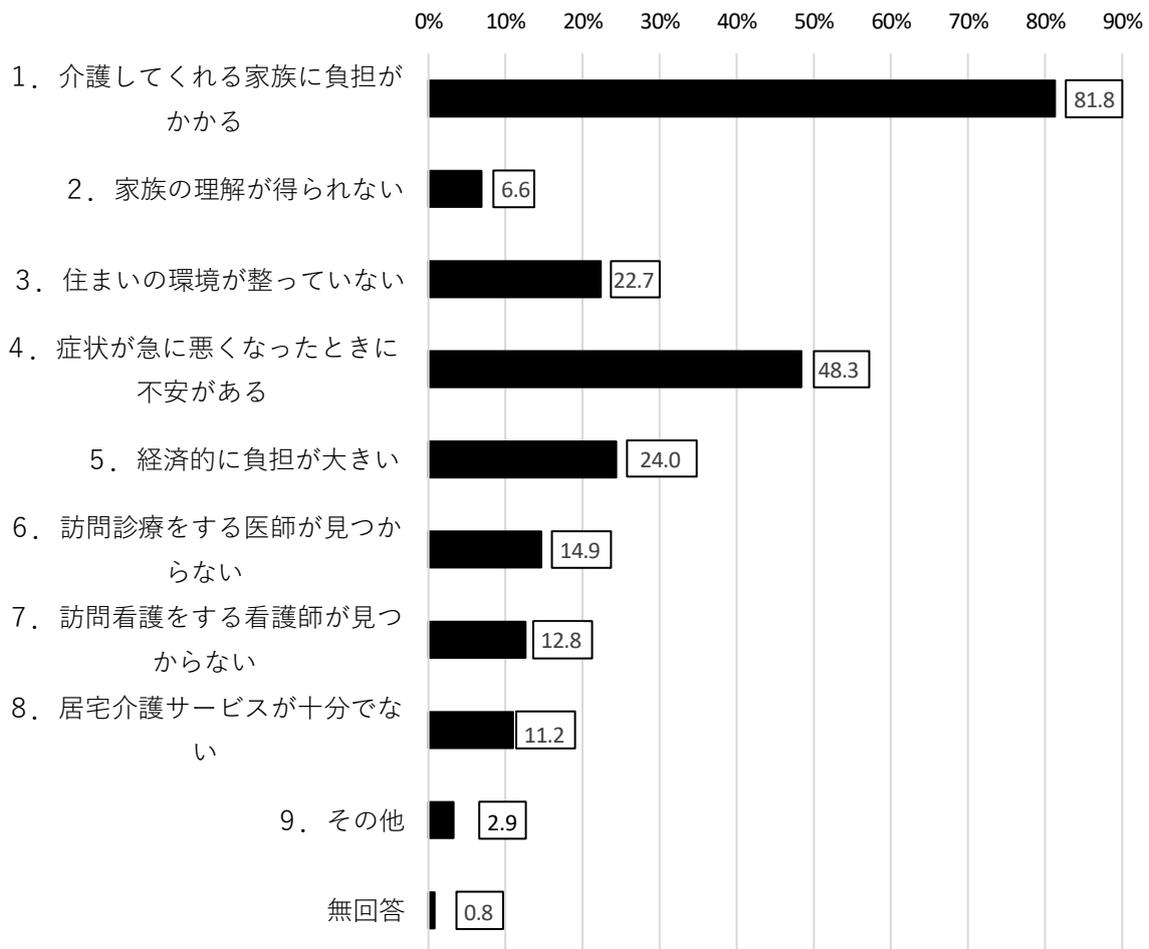
「難しいと思う」は37.3%となっており、前回調査(34.1%)と比べてやや増加しています。



3-1 難しいと思う理由は何ですか。(MA) n=242

※(3)で「2. 難しいと思う」と回答した方

最も割合が高いのは「介護してくれる家族に負担がかかる」(81.8%)、次いで「症状が急に悪くなったときに不安がある」(48.3%)、「経済的に負担が大きい」(24.0%)と続きます。

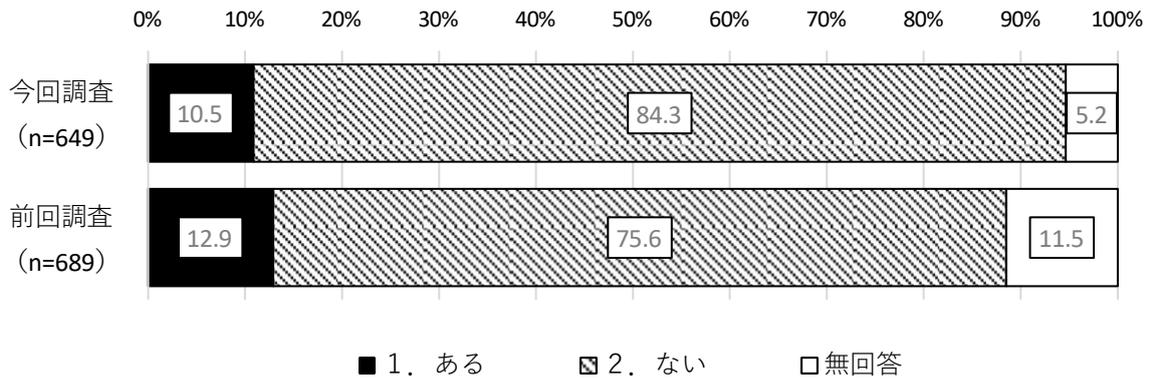


「その他」の記述(要約)

自宅で療養しながら、最期まで過ごすことが難しい理由として、家族の不在や高齢、訪問看護では足りない介護ニーズ、居住環境の制約などが挙がっています。

(4) 今までに入院されたことがあり、退院後、在宅での医療や介護が必要となったことがありますか。(S A) n=649

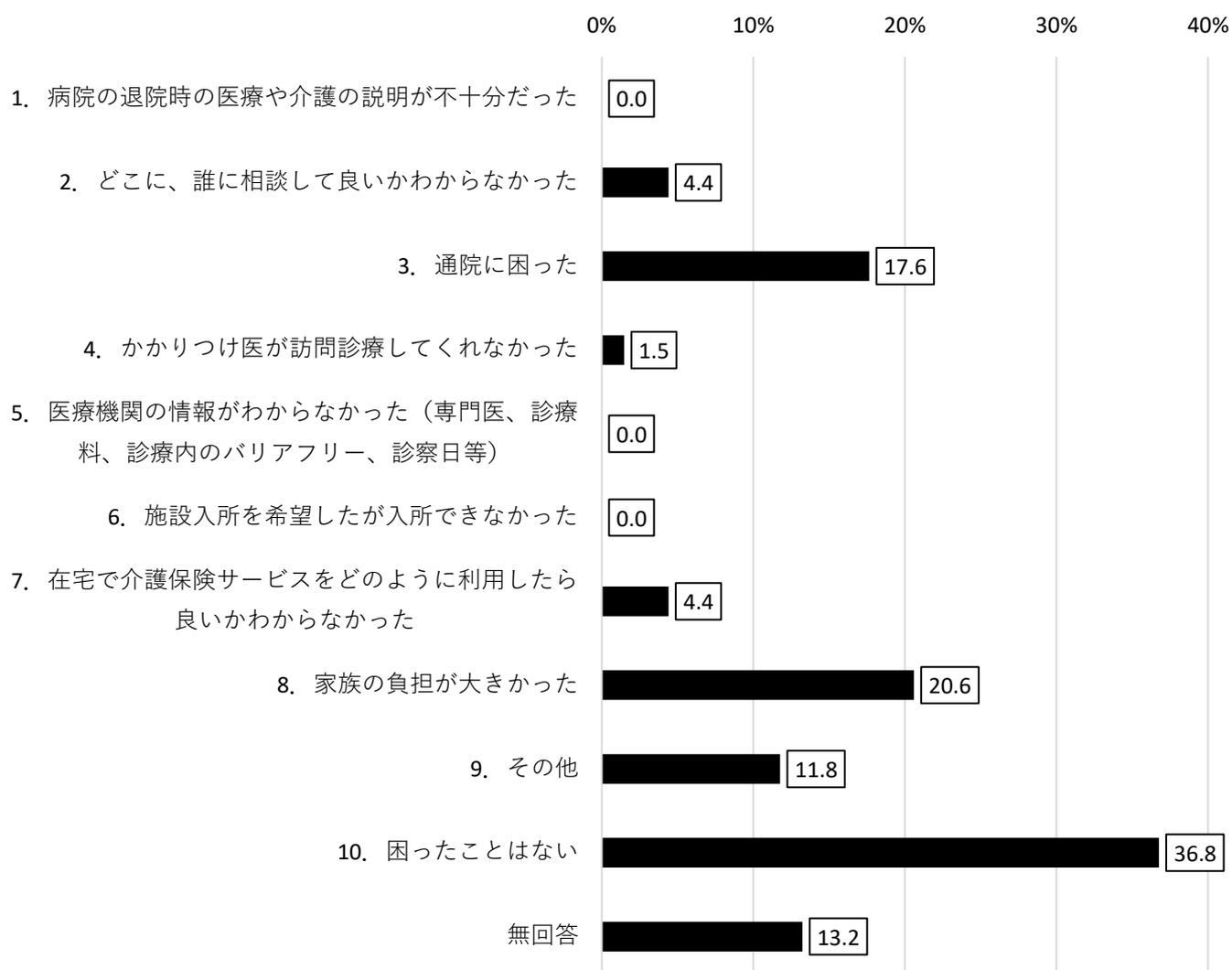
「ある」は 10.5%となっており、前回調査(12.9%)と比べてやや減少しています。各回答の割合に大きな傾向の変化はみられません。



4-1 退院時や退院後、困ったことはありますか。(MA) n=68

※(4)で「1.ある」と回答した方

最も割合が高いのは「困ったことはない」(36.8%)、次いで「家族の負担が大きかった」(20.6%)、「通院に困った」(17.6%)と続きます。



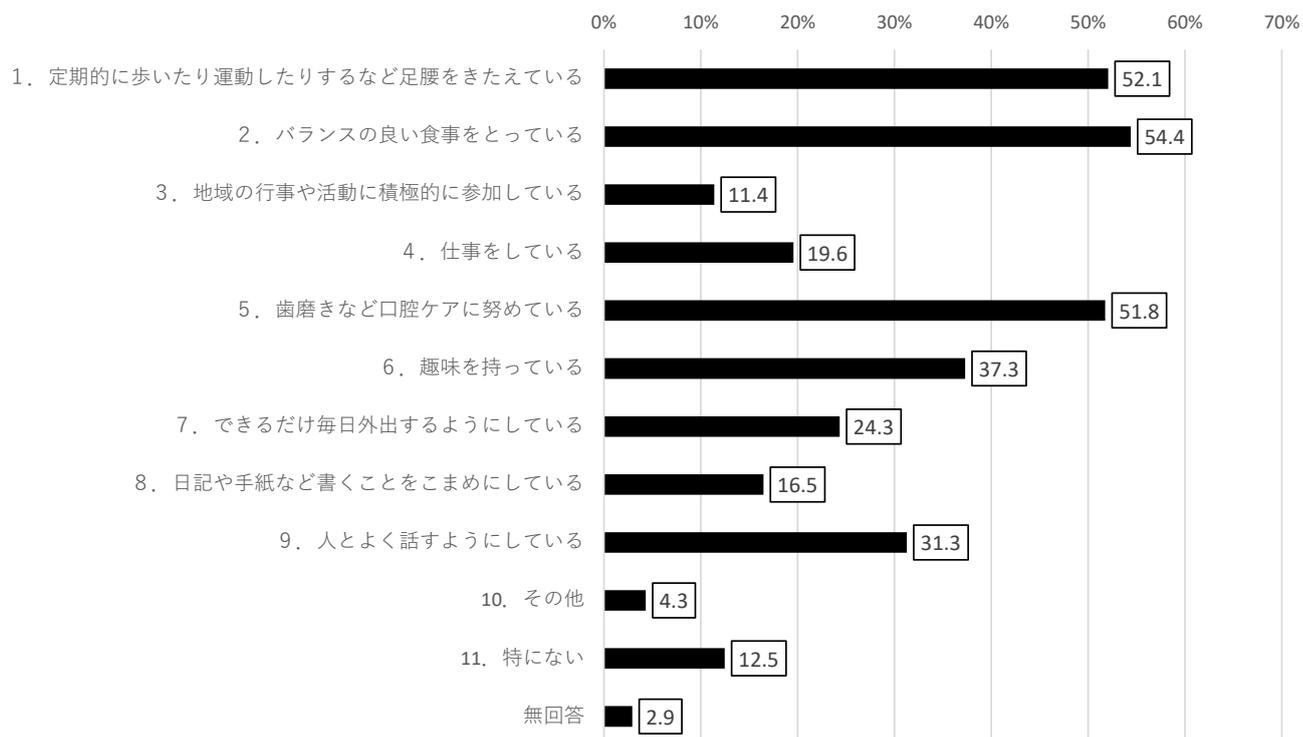
「その他」の記述(要約)

退院時や退院後、困ったことがあったかについて、退院後の移動や住宅環境の整備など家族が対応しきれないこと、リハビリを続行しなければならないこと、家事が手に負えない家族のケアなどが挙げられました。また、必要な支援やサービスを受けるための認定や手続きがやや煩雑で、時間を要したことが挙げられています。

問 10 その他

(1) あなたは、病気の予防や健康づくりのために、心がけていることがありますか。
(MA) n=649

最も割合が高いのは「バランスの良い食事をとっている」(54.4%)、次いで「定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」(52.1%)、「歯磨きなど口腔ケアに努めている」(51.8%)と続きます。

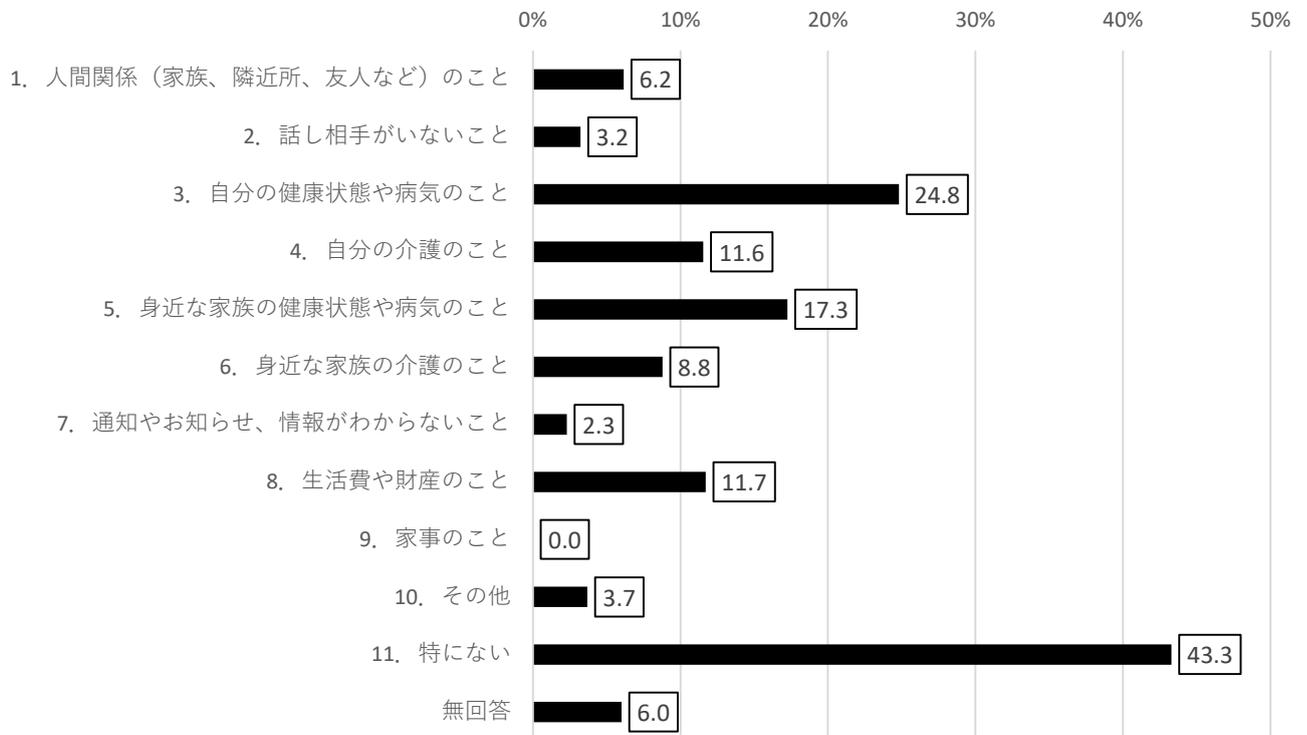


「その他」の記述 (要約)

病気の予防や健康づくりのために心がけていることについて、新聞を読む、適切なエクササイズやボランティア活動、趣味、健康的な食事、ウォーキング、読書、歌う、パソコンや SNS の使用、睡眠、マッサージ、家族の世話、畑仕事、町の健康体操、家事、ラジオの聴取、筋トレ、友人との交流、スポーツジム利用、料理、部活の指導、植物の栽培などが挙げられています。

(2) あなたは、現在、日常生活で悩みや不安がありますか (MA) n=649

「特にない」を除くと、最も割合が高いのは「自分の健康状態や病気のこと」(24.8%)、次いで「身近な家族の健康状態や病気のこと」(17.3%)、「生活費や財産のこと」(11.7%)と続きます。

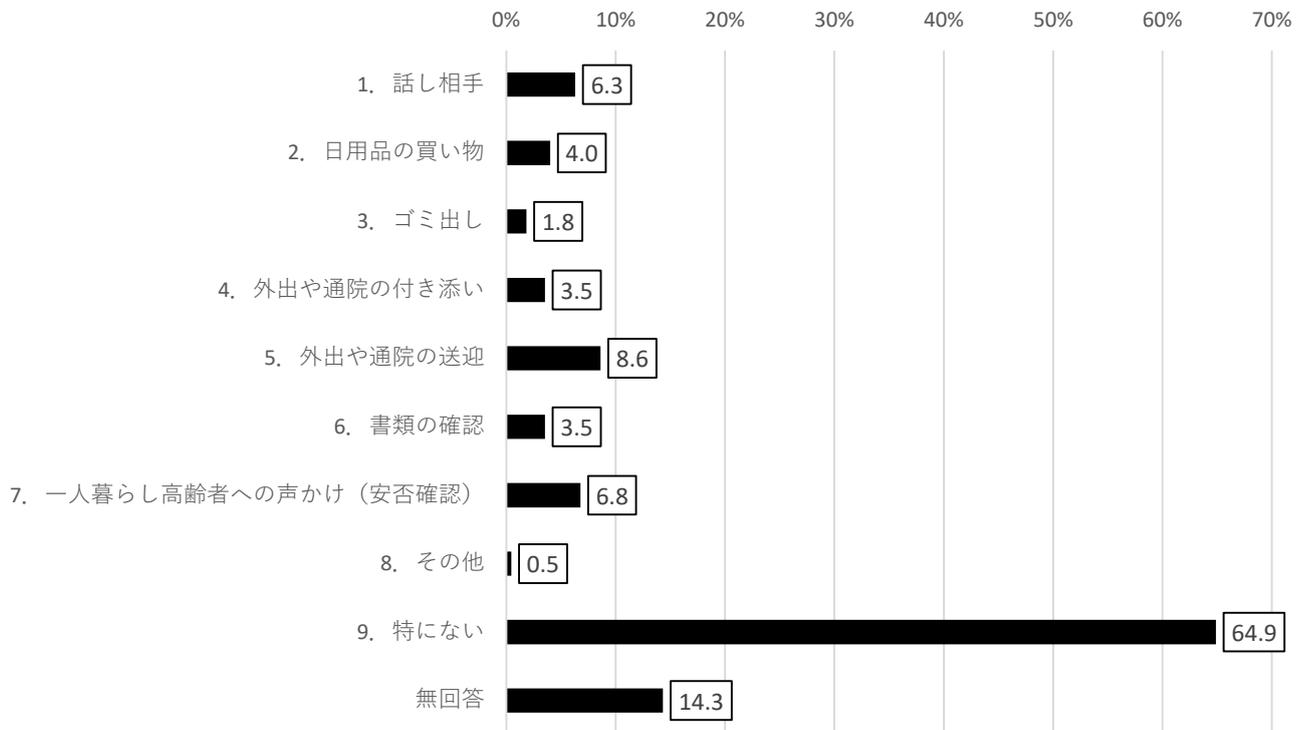


「その他」の記述 (要約)

日常生活における悩みや不安について、経済的な困窮、家族の介護や健康状態、将来の生活設計や資金計画、家庭内の関係問題、また仕事や身近な家族との関係に関連していることが多く挙げられています。

(3) 地域における住民同士の支え合いとして、あなたがしてもらいたいことはありますか (MA) n=649

「特にない」を除くと、最も割合が高いのは「外出や通院の送迎」(8.6%)、次いで「一人暮らし高齢者への声かけ(安否確認)」(6.8%)、「話し相手」(6.3%)と続きます。

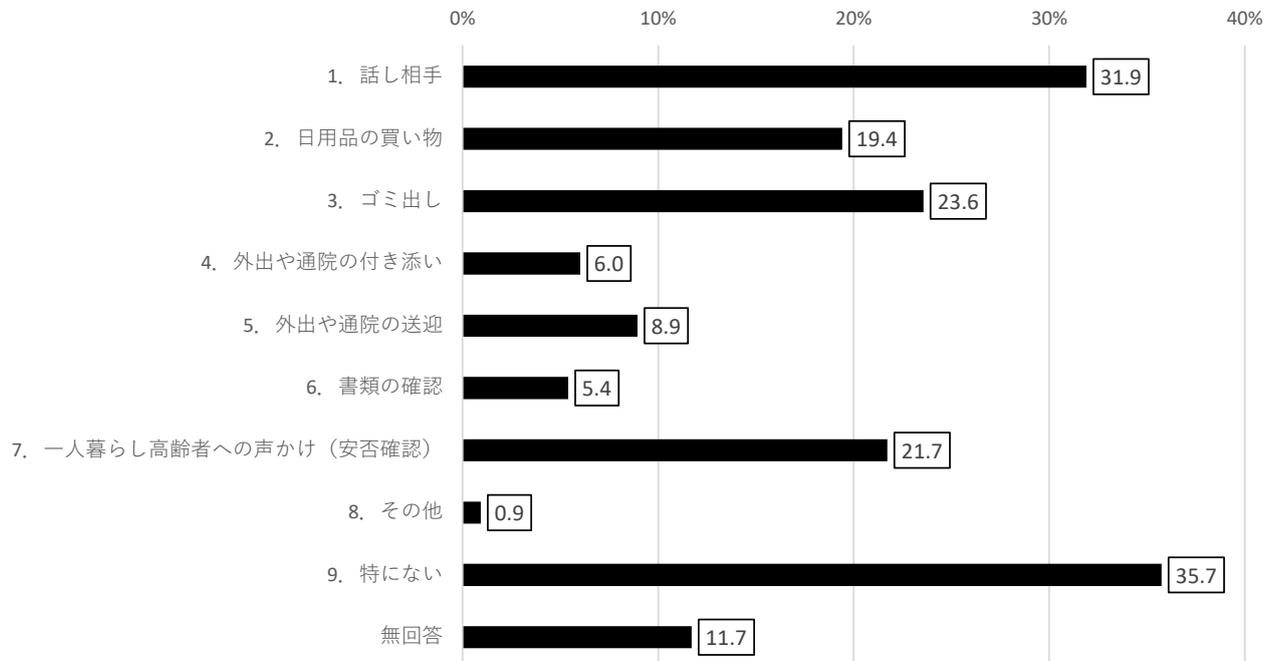


「その他」の記述(要約)

地域における住民同士の支え合いとして、してもらいたいことについて、日常不便を感じる車の利用制限、掃除の支援、介護を担う両親の話し相手などの意見が挙がっています。

(3) 地域における住民同士の支え合いとして、あなたができそうなことはありますか
(MA) n=649

「特にない」を除くと、最も割合が高いのは「話し相手」(31.9%)、次いで「ゴミ出し」(23.6%)、「一人暮らし高齢者への声かけ(安否確認)」(21.7%)と続きます。



「その他」の記述(要約)

地域における住民同士の支え合いとして、できそうなことについて、要望に応じた支援の提供、多様な援助活動(修理や雑用など)ができるとの意見が挙がっています。手術後や介護負担等の理由で活動が制限されるケースも存在するとの意見もありました。

自由記述

最後に、「地域福祉」や「福祉全般」についてご意見・ご提案等がありましたらご記入ください。（主な回答を要約）

1. 日常生活や地域環境について

- ・高齢者夫婦が自立して生活しているが、移動は高齢ドライバーに頼るしかなく、子供は遠隔地に住んでいるため頼れない。
- ・現在は二人で生活しているが、運転ができなくなり日常生活が困難になることを懸念している。身体の不自由さを感じ、近隣の人々に助けを求めている。
- ・1人では外出できず、介護者に頼って外出している。費用もかかる。
- ・一人暮らしのため、病気等で倒れた時が不安。
- ・買い物やゴミ出しが将来的にできなくなることが不安。
- ・現在は元気だが病気や事故が心配で、その前に何を準備すべきかわからない。
- ・食料品の買い物が困難で、買い忘れが生活のモチベーションを下げる。
- ・息子が遠方にいることが不安。
- ・一人暮らしで何かあった場合の連絡先が必要。
- ・趣味や仕事を続けることで元気を保っている。
- ・地域に食料品店がなく、非常に不便を感じている。
- ・地域に楽しい場所や店が少なく困っている。
- ・地域にお店がなく、食品の買い物が不便。
- ・近所付き合いが疎遠。一人暮らしの高齢者への配慮が必要。
- ・買い物する場所が近くにない。
- ・後期高齢者だが、まだまだ人の役に立ちたいと思っている。
- ・身体（足腰）が不自由になっていくのを感じ、子供達は離れて生活しているため、近所の人に助けを求めている。
- ・自営で働いているが体力の低下を感じ、引退のタイミングを考えている。
- ・仕事があればしたい。
- ・身体が思うように動かないことが辛い。
- ・物価の高さに困っている。
- ・物価高騰により、介護用品の購入が困難。
- ・一人暮らしで現在は連絡できる場所はあるが、連絡できない状態になると困る。

2. 社会参加活動や世代間の交流について

- ・積極的に社会参加活動を行っているわけではないが、依頼があれば協力する。
- ・高齢者も活動できる場の創造が必要。
- ・高齢者や寡婦が増え、自治会の維持が難しくなっている。行政からの通知方法や班長会の必要性も見直す時期だと感じている。

- ・近隣の若者との交流が難しい。
- ・孫が成長した後の自分の生活や活動について考えている。
- ・高齢者は自治会の活動に参加すべきだと言うような圧力を感じる。
- ・ご近所とのコミュニケーションが取りづらい。若い家族は仕事で留守にしがちである。
- ・仕事を退職してから畑仕事を始めたが、もっと地域の交流を深めたいと考えている。
- ・自治会の必要性に疑問を持っている。

3. ICT 利活用について

- ・スマホやカード、ポイントの利用に困っている。
- ・スマホを使って送迎の申し込みができるシステムを希望。
- ・LINE や YouTube を利用して情報収集や友人とのコミュニケーションを楽しんでいる。
- ・町内に自由に Wi-Fi を使って活動や学びができる環境がない。

4. インフラ・施設について

- ・コミュニティバスの料金を減額または無料にしてほしい。
- ・デマンド型乗合タクシーとコミュニティバスの併用を検討してほしい。
- ・コミュニティバスの停留所が遠く、利用が困難。オンデマンドタクシーの設置や希望する場所でのバスの降車を許可してほしい。
- ・免許証返納後の通院や買い物の交通手段について検討中。
- ・ゴミ出しの場所が遠く、将来的にそれが困難になることを懸念している。
- ・道路がでこぼこで、高齢者にとって移動が困難。
- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・バス停に屋根を設置してほしい。
- ・コミュニティバスは希望する場所で降りられるようにしてほしい。
- ・自動車を廃車にしたため、通院や買い物に困っている。
- ・コミュニティバスの本数が少なく、不便を感じている。
- ・淡輪駅にエレベーターの設置を希望。
- ・駅までの坂道が急で移動が困難。
- ・介護予防のためのコミュニティバスの改善が必要。
- ・運転免許を返納した場合の通院や買い物の交通手段について懸念している。
- ・車の運転ができないため、コミュニティバスや乗り合いタクシー等のサービスを充実してほしい。

5. 高齢者福祉について

- ・外出や通院の送迎が必要。
- ・高齢者向けの割引カードがあれば外出しやすい。
- ・1 人になった場合の生活に不安を感じている。
- ・終活を始めたが心が沈んでしまい、何を準備すべきかわからない。
- ・高い所の電球交換や重たい物の移動など、日常の困難に対するサポートを希望している。

- ・介護保険料が高いと感じている。
- ・年金生活で生活が苦しい。医療費や介護保険料が重荷。
- ・高い場所の電球交換や重い物の移動、掃除や草引きが困難。低価格での支援サービスが欲しい。

6. 医療・介護について

- ・淡輪地区に病院が少なく、通院が困難。
- ・変形性膝関節症と診断され、生活に戸惑いを感じている。
- ・今年は入院と退院を繰り返し、体調が良くない。
- ・急な病気に対する不安があり、救急車を呼べるか心配。
- ・足の不自由さや体力の低下が生活を困難にしている。
- ・一人暮らしのため、急な病気や救急時の対応に不安を感じている。
- ・父親が認知症の初期症状で病院に通院している。
- ・現在は健康だが、80歳を目安に他地域での施設入所を考えている。
- ・介護の不安を感じている。
- ・現在は元気で一人暮らしをしているが、病気で倒れた場合のことを心配している。
- ・現在は元気だが、将来的に認知症になる可能性を考慮して注意深く生活している。
- ・認知症の家系であるため、日頃から健康管理に気を使っている。
- ・認知症の隣人からの暴言や盗難に困っている。
- ・オールドケアラーについてのアドバイスが欲しい。
- ・一人暮らしの高齢者への配慮や、信頼できる主治医の存在が必要。
- ・年金生活で医療費が多くかかり、生活が苦しい。
- ・将来、自分自身が介護を必要とすることに不安を感じている。
- ・家の近くの道路が狭く、車が入れないため、将来歩けなくなった際の介護受け入れが困難になることを懸念している。
- ・介護をしているが、排せつ関連のゴミが多く周りに気を使っている。夏場は特に困っているので支援が欲しい。
- ・精神的に負担を感じているものの、家族がサポートしてくれるので心配はない。
- ・身近な家族の介護や通院付き添いをしながら働きたい。

7. その他、行政への要望

- ・行政の窓口が分かりにくく、将来のための相談ができる窓口が欲しい。
- ・書類の横文字が理解できず、相談窓口が欲しい。
- ・書類の内容が理解できず、どのように返送すれば良いかわからない。相談窓口が欲しい。
- ・マイナンバー制度に反対。政治家が勝手に決めた制度に不信感を抱いている。
- ・認知症の親のマイナンバーカードの手続きを一か所で簡単に済ませたい。
- ・補聴器の高額なコストと交換サイクルについて補助制度を検討してほしい。
- ・近所で猫を放し飼いにしている家が多く困っている。
- ・畑で作ったものが盗まれることや、認知症の近隣住民からの言動に困っている。

- ・町内には高齢者が多く子どもが少ない。空き家も増えており、町おこしを希望する。
- ・町からの LINE 連絡が多すぎる。緊急連絡とその他を区別してほしい。
- ・年金が低いことに不満を感じている。
- ・身体が不自由になった際の介護認定の手続きや条件を知りたい。
- ・高齢者だけではなく、その他の層からも意見を聞くことが重要で、行政はそれを具体化する必要があると感じている。
- ・民生委員が機能していないと感じており、行政が介入して高齢者のサポートを強化すべきだと考えている。
- ・保険料が高すぎると感じており、どこまでサポートを受けられるのか疑問に思っている。
- ・子供への配慮やサポートを強化してほしい。

岬町
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 結果報告書

令和5年10月発行

発行・編集 岬町 しあわせ創造部 高齢福祉課

住 所 〒599-0392
大阪府泉南郡岬町深日 2000-1
電 話 072-492-2716
F A X 072-492-5814
E メール koureifukushi@towm.osaka-misaki.lg.jp